

平成27年3月23日(月)
平成26年度 第9回
大阪府河川整備審議会

参考資料 1

淀川水系淀川右岸ブロック河川整備計画 (変更原案)についての住民説明会

平成27年3月13日(金) 14時～
高槻市総合センターC-1401会議室

本説明資料は、大阪府河川室ホームページでも見ることができます。
(アドレス http://www.pref.osaka.jp/s_kasen/)

1. 河川整備計画とは

【河川整備計画とは】

- 河川整備基本方針に基づき、概ね20～30年間で計画的に行う河川の整備や管理に関する具体的な目標や内容を定めたもの。

【河川整備基本方針とは】

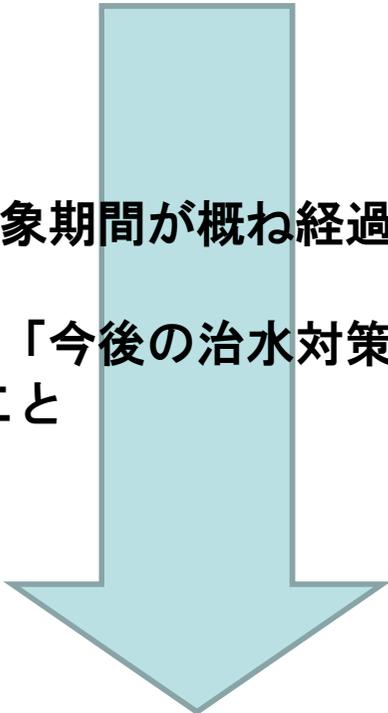
- 河川整備基本方針とは、将来の川のあるべき姿や河川整備の長期的な基本となる方針（治水・利水・環境）を定めたもの。

※河川法により、河川管理者は河川整備基本方針・河川整備計画を定めることとされている。
淀川右岸ブロックでは、H15年3月に河川整備計画を策定。

2. 淀川右岸ブロック河川整備計画の変更にあたって

■ 淀川右岸ブロック河川整備計画の策定 (H15. 3月)

- 淀川右岸ブロックの河川整備の当面の目標を定めたもの。
- 計画対象期間：概ね15年

- 
- 現計画の策定から、計画対象期間が概ね経過しようとしていること
 - H22年に大阪府が策定した「今後の治水対策の進め方」に基づき、治水目標、治水計画の見直しを行ったこと

など

■ 淀川右岸ブロック河川整備計画（変更）の策定を行う。

2. 淀川右岸ブロック河川整備計画の変更にあたって

淀川右岸ブロック河川整備計画の主な変更点

- 「今後の治水対策の進め方」に基づき、治水・利水・環境の取り組みを見直し
- 各河川の当面の治水目標を新たに設定
 - ⇒ 東檜尾川においては、時間雨量65ミリ程度の降雨による床上浸水を防ぐこと、芥川、女瀬川、西山川、檜尾川、水無瀬川においては、時間雨量80ミリ程度の降雨による床上浸水を防ぐことを当面の治水目標とする。
- 上記、治水目標の達成に向け、洪水対策を見直し
- 計画対象期間を変更
 - ⇒ 概ね15年から概ね30年に変更
- 住民が的確な避難行動をとれるよう河川情報の提供に関する事項を充実
 - ⇒ 洪水リスク表示図、雨量・水位データの公表、住民の安全な避難行動・地域防災活動の支援等

2. 淀川右岸ブロック河川整備計画の変更にあたって

河川整備計画の策定フロー

河川整備計画（変更原案）

← 学識経験者からの意見

大阪府河川整備審議会※（および治水部会など）
において審議

← 住民の皆様からのご意見

本日

内容の説明およびご意見の聴取

河川整備計画（変更原案） 住民の皆様のご意見を反映し修正したもの

河川整備審議会にて了承の場合

河川整備計画（変更案）

← 地方公共団体の長の意見

← 国土交通省の同意・認可

河川整備計画 策定

3. 大阪府の新たな治水対策の考え方

今後の治水対策の進め方（H22.6策定）

【基本的な理念】 人命を守ることを最優先とする。

【取組み方針】

- (1)現状での河川はん濫・浸水の危険性に対する府民の理解を促進する。
- (2)「逃げる」「凌ぐ」施策を強化するとともに、「防ぐ」施策を着実に実施する。
- (3)府民が対策の効果を実感できる期間（概ね10年）で実現可能な対策及び実施後の河川はん濫・浸水の危険性をわかりやすく提示する。

【当面の治水目標（今後20～30年）の設定】

○時間雨量50ミリ程度※1の降雨で床下浸水を発生させない。かつ、少なくとも時間雨量65ミリ程度の降雨で床上浸水を発生させない。

【河川情報の提供】

○住民が的確に避難行動がとれるよう、河川氾濫や浸水に対する情報提供に努める。

※1 時間雨量50ミリ程度の降雨は、10年に一度発生する恐れがある降雨

※2 時間雨量65ミリ程度の降雨は、30年に一度発生する恐れがある降雨

将来目標（長期計画）

○府管理の全河川について、時間雨量80ミリ程度※3の降雨でも、川があふれて、家が流され、人がなくなるようなことをなくす。

※3 時間雨量80ミリ程度の降雨は、100年に一度発生する恐れがある降雨

3. 大阪府の新たな治水対策の考え方

地先の危険度
低減に向けた

総合的・効果的な治水手法の組合せ

流出抑制

雨が降っても河川へ出る水量を減らす。
(家庭での貯留施設の設置やため池の治水活用など)

治水施設の保全・整備

河川堤防の決壊によるはん濫をできるだけ回避するなど、
河川を流れる水は可能な限りあふれさせない。
(河川改修・堆積土砂除去など)

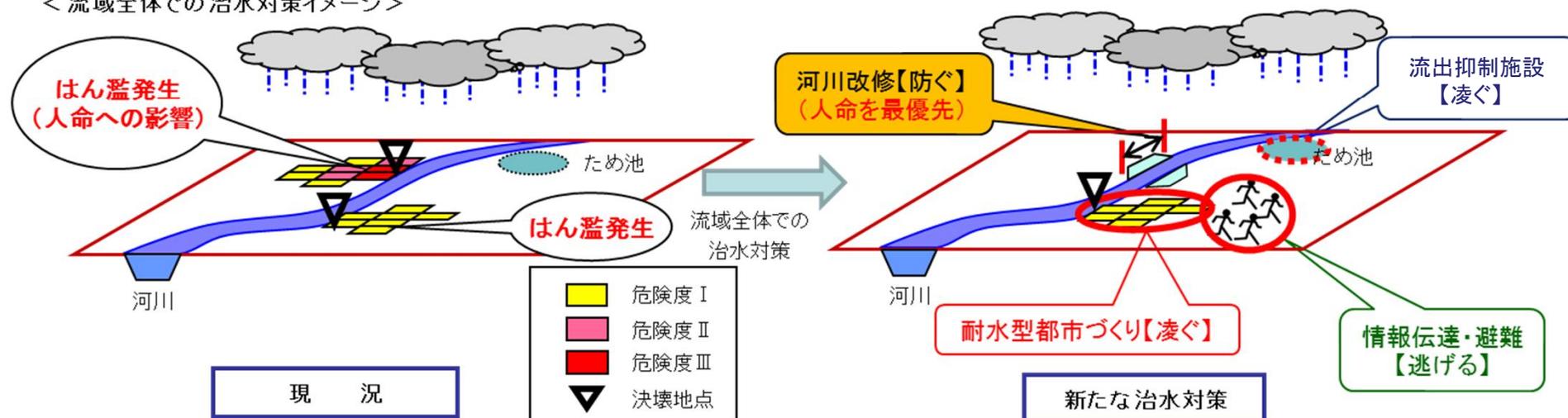
耐水型都市づくり

河川からあふれても被害が最小限となる街をつくる。
(家屋の耐水化・高床化などの促進)

情報伝達・避難

河川からあふれそうなときはできるだけ早く逃げる。
(洪水はん濫・浸水による危険性の周知、流域市と連携した避難体制づくり
の促進など)

<流域全体での治水対策イメージ>



4. 淀川右岸ブロック河川整備計画(変更原案)の内容について

第1章 河川整備計画の目標に関する事項

第1節 流域及び河川の概要

第2節 河川整備の現状と課題

第3節 流域の将来像

第4節 河川整備計画の目標

1. 洪水、高潮等による災害の発生の防止または軽減に関する目標
2. 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標
3. 河川環境の整備と保全に関する目標
4. 河川整備計画の計画対象区間
5. 河川整備計画の計画対象期間
6. 本計画の適用

第2章 河川整備の実施に関する事項

第1節 河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要

第2節 河川の維持の目的、種類及び施行の場所

第3章 その他河川整備を総合的に行うために必要な事項

第1節 地域や関係機関との連携に関する事項

第2節 河川情報の提供に関する事項

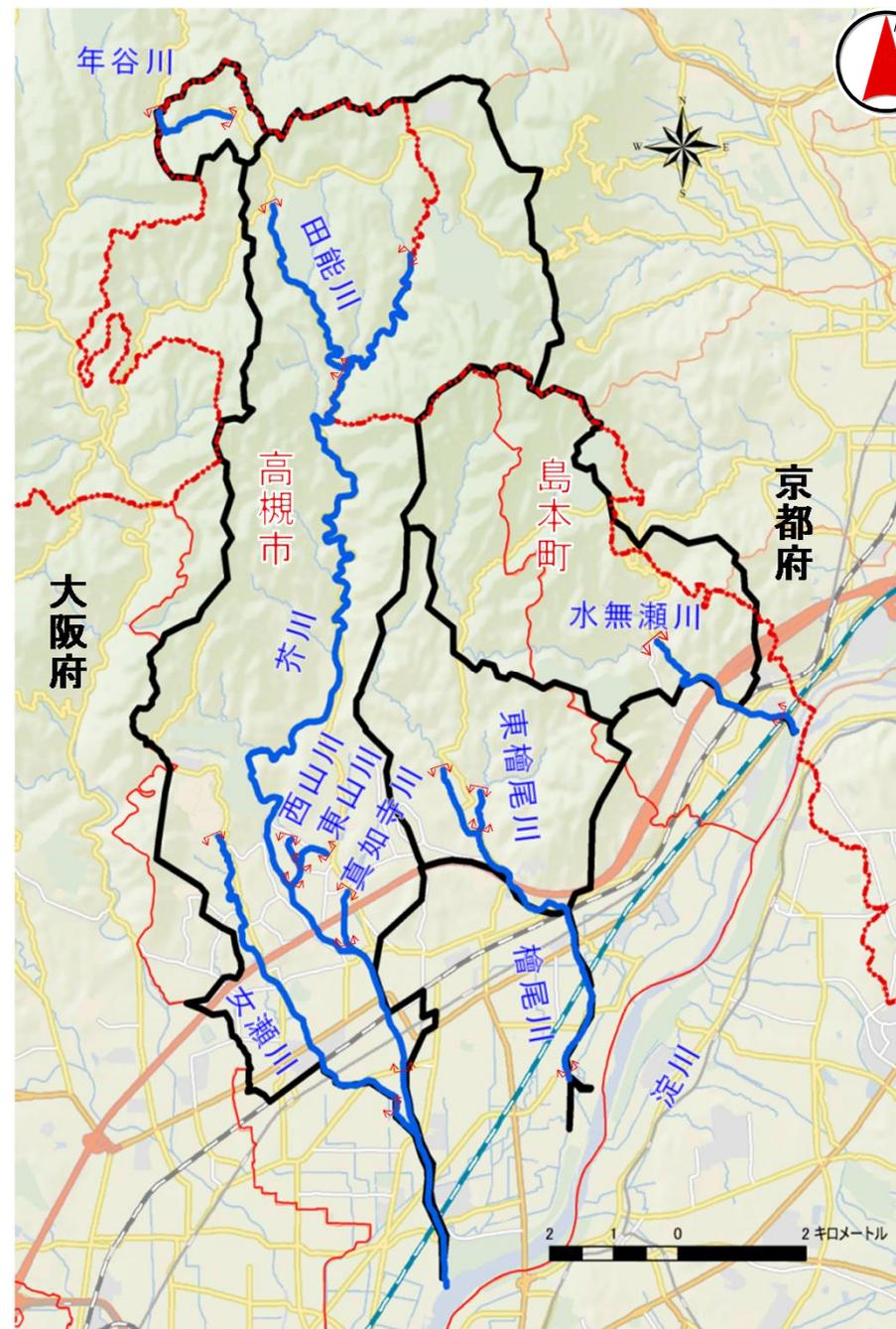
5. 流域の概要

淀川水系淀川右岸ブロックは、芥川、檜尾川、水無瀬川流域および年谷川から構成され、各河川は北摂山系にその源を発し、芥川、檜尾川、水無瀬川流域の各河川は南流し淀川へ、年谷川は北流し桂川へ注ぎ込む一級河川です。

流域は、高槻市、島本町、および京都府京都市、長岡京市、大山崎町の3市2町にまたがり、流域の8割以上が山地で構成されています。

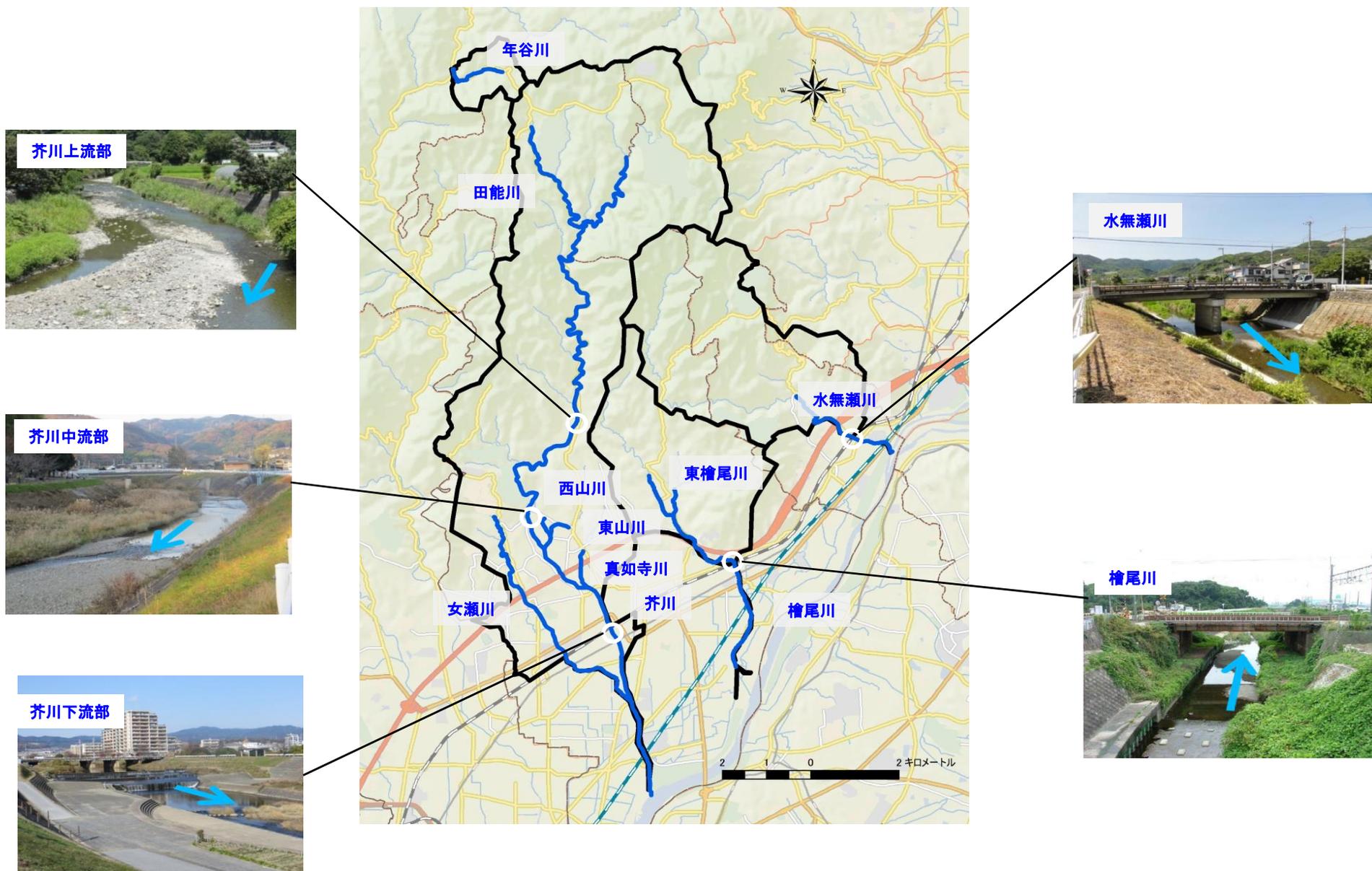
戦前まで、流域は山地と農村地帯で占められていましたが、昭和30年代後半からの高度経済成長に伴い下流部の宅地開発が急激に進みました。

| 河川名 | 流域面積(km ²) | 指定区間延長(km) |
|-------|------------------------|------------|
| 芥川流域 | 50.14 | 31.6 |
| 芥川 | 36.26 | 19.3 |
| 女瀬川 | 4.44 | 6.0 |
| 真如寺川 | 2.08 | 1.0 |
| 西山川流域 | 2.16 | 1.6 |
| 西山川 | 1.02 | 0.9 |
| 東山川 | 1.14 | 0.7 |
| 田能川 | 5.20 | 3.7 |
| 檜尾川流域 | 11.56 | 7.0 |
| 檜尾川 | 7.76 | 6.2 |
| 東檜尾川 | 3.80 | 0.8 |
| 水無瀬川 | 17.45 | 4.0 |
| 年谷川 | 2.60 | 1.4 |
| 合計 | 81.75 | 44.0 |



6. 淀川右岸ブロックの現状

淀川右岸ブロックの流域面積は79.6km²で、芥川水系(芥川、女瀬川、真如寺川、西山川、東山川、田能川)、檜尾川水系(檜尾川、東檜尾川)、水無瀬川水系、年谷川の10河川から構成されている。



6. 淀川右岸ブロックの現状(芥川)

●芥川下流区間(淀川合流点～名神高速)

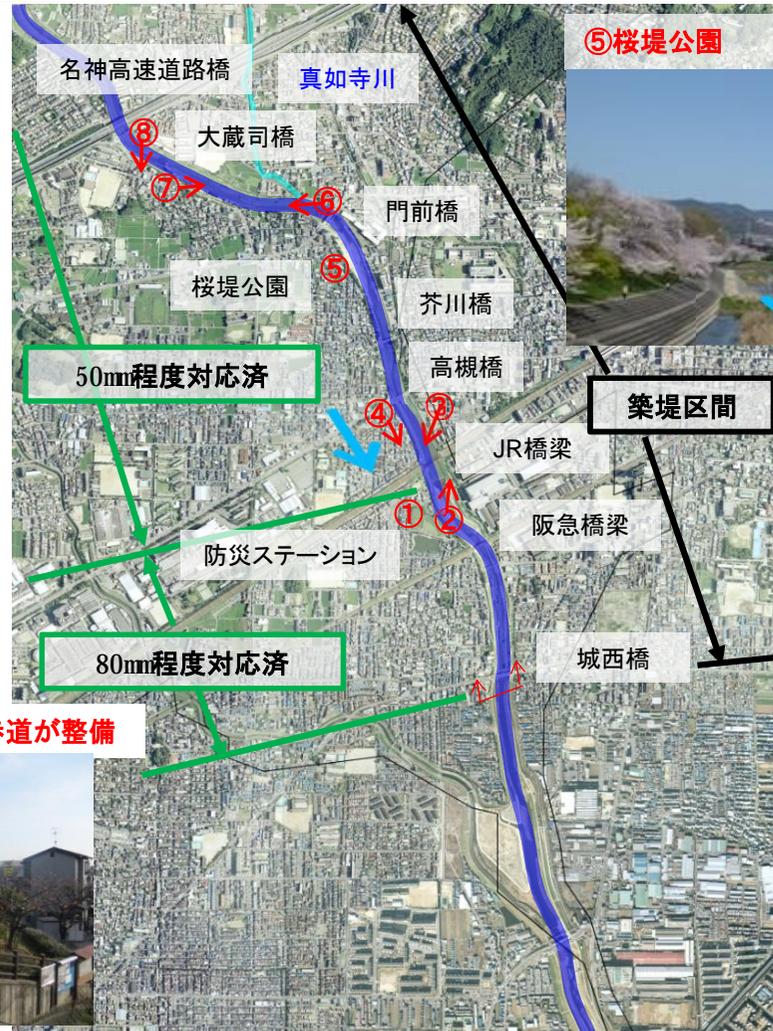
- ・川幅は約50mで、女瀬川合流点より下流では約80mに広がり、河床勾配は、1/400～1/600程度である。
- ・河道周辺は市街地となっており、両岸に護岸が整備された直線的な河道である。
- ・沿川には、桜堤公園、防災ステーションなどが整備されている。



①防災ステーション



②JR橋梁南右岸側より上流を見る



⑤桜堤公園

⑥門前橋左岸より上流を見る



⑦大蔵司橋下流部右岸より下流を見る

③高槻橋左岸付近より下流を見る



④高槻橋右岸側 遊歩道が整備



⑧大蔵司橋より下流を見る



6. 淀川右岸ブロックの現状(芥川)

●芥川中流区間(名神高速～摂津峡)

- ・川幅は約50mで、河床勾配は1/80～1/400程度である。
- ・河道内は瀬と淵が形成され、河道周辺は農地及び市街地となっている。
- ・河川沿川には、芥川緑地(あくあぴあ芥川)が整備されている。

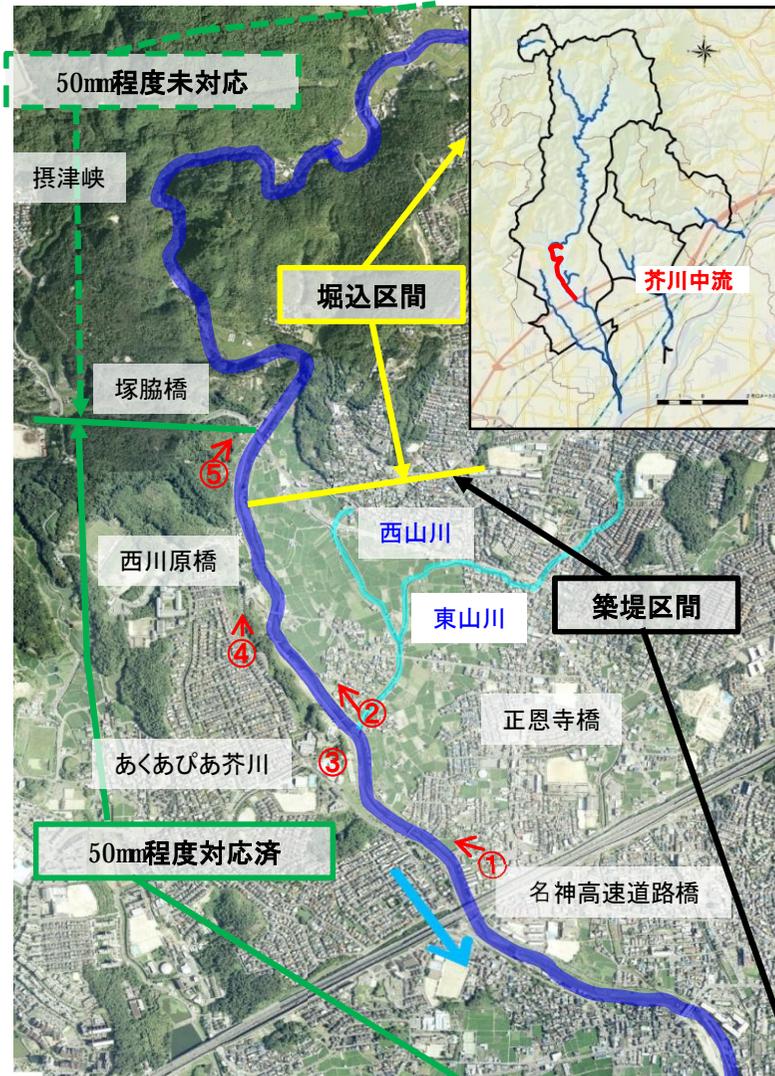
①名神道路橋付近より上流を見る



②正恩寺橋付近より上流を見る



③あくあぴあ芥川



④西川原橋付近より上流を見る



⑤塚脇橋付近より上流を見る



6. 淀川右岸ブロックの現状(芥川)

●芥川上流区間(摂津峡より上流)

- ・川幅は約15mで、一部原大橋付近は約25mとなる。
- ・河床勾配は1/30~1/80程度である。
- ・山地が川岸に迫り、瀬と淵が形成され、変化に富む流れとなっている。

①摂津峡大橋付近より下流を見る



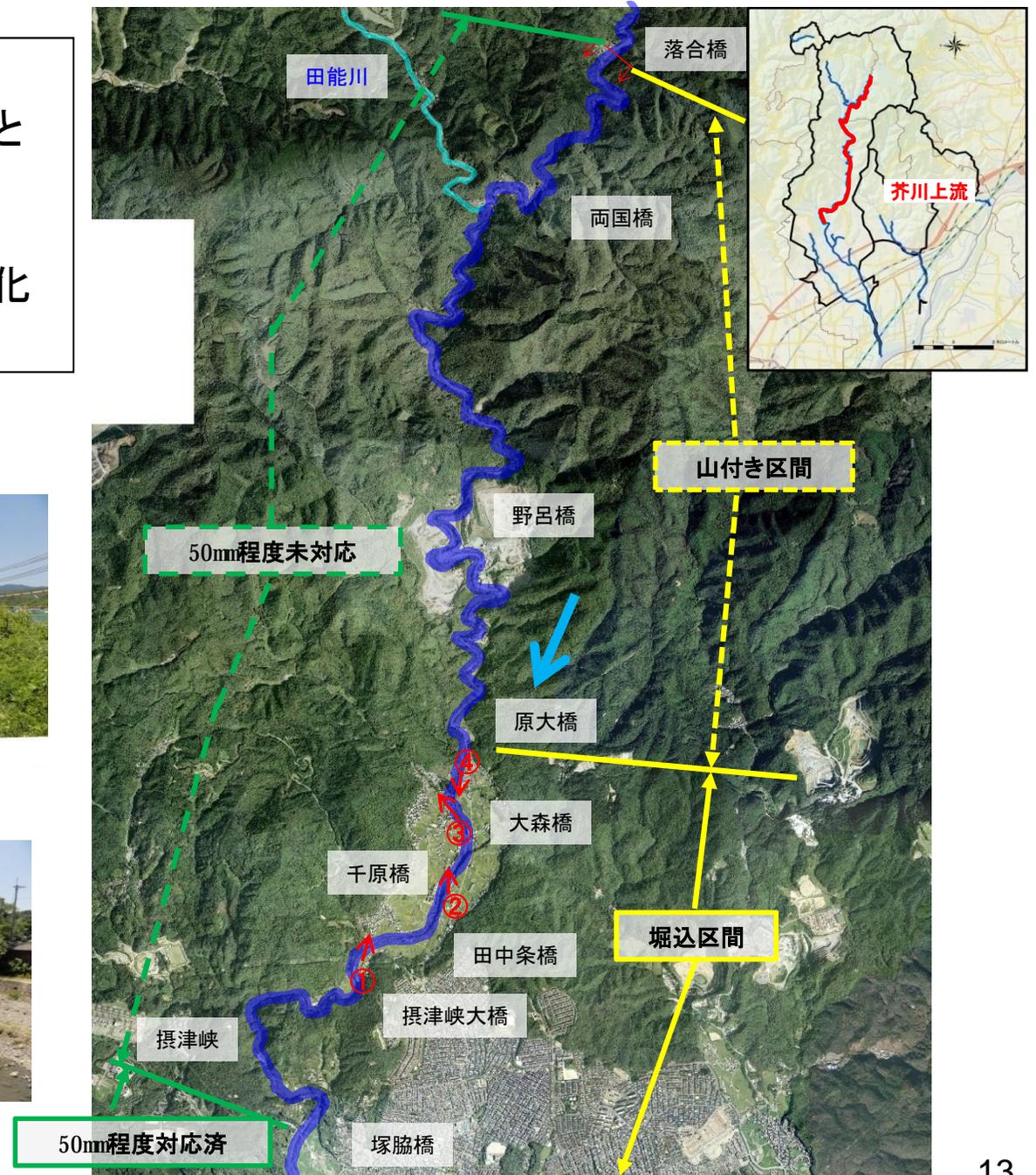
③大森橋～千原橋(上流を見る)



②大森橋～千原橋(上流を見る)



④原大橋付近より下流を見る



6. 淀川右岸ブロックの現状(女瀬川)

●女瀬川中下流区間(芥川合流点～名神高速道路)

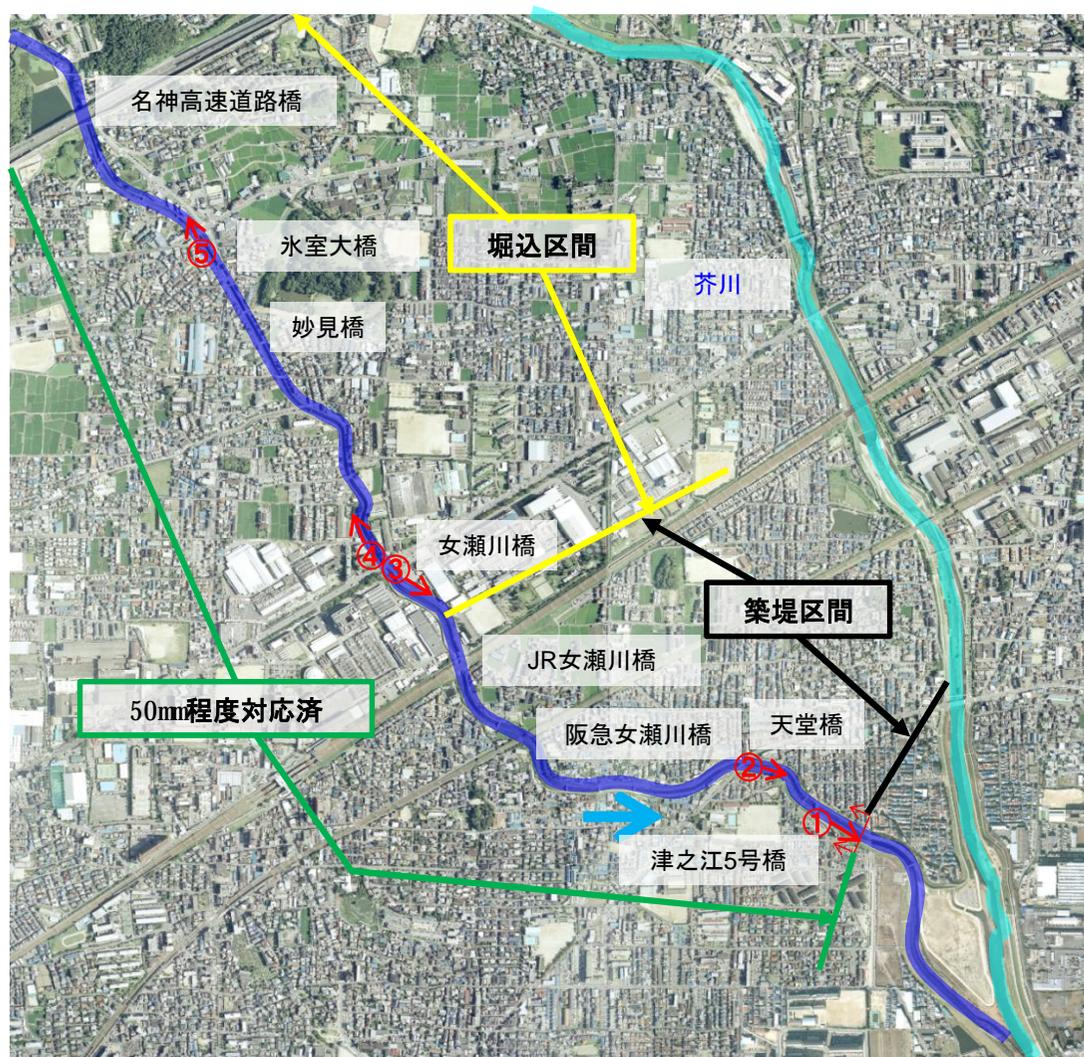
- ・川幅は約20mで、河床勾配は1/100程度である。
- ・河道周辺は市街地となっており、両岸に護岸が整備されている。



①津之江5号橋より下流を見る



②天童橋より下流を見る



③女瀬川橋より下流を見る



④女瀬川橋より上流を見る



⑤氷室大橋より上流を見る



6. 淀川右岸ブロックの現状(女瀬川)

●女瀬川上流区間(名神高速道路より上流)

- ・川幅は約10mで、河床勾配は1/50程度である。
- ・河道周辺は、下流の市街地から、上流域の山地及び農地へと広がりを見せる。

①氷室橋より下流を見る



②氷室橋より上流を見る



③奈佐原橋より下流を見る



④奈佐原橋より上流を見る

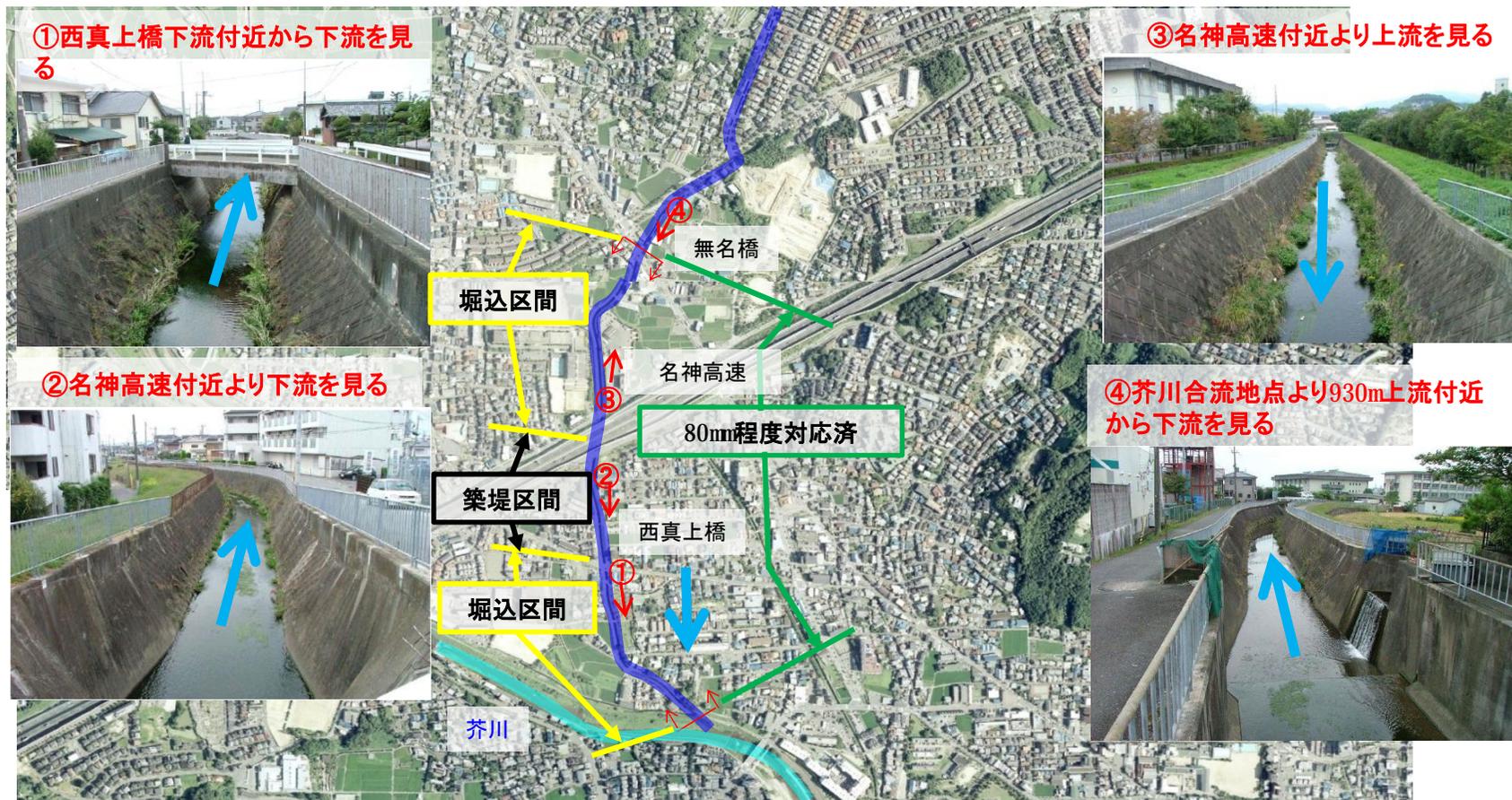


⑤女瀬川上流端付近



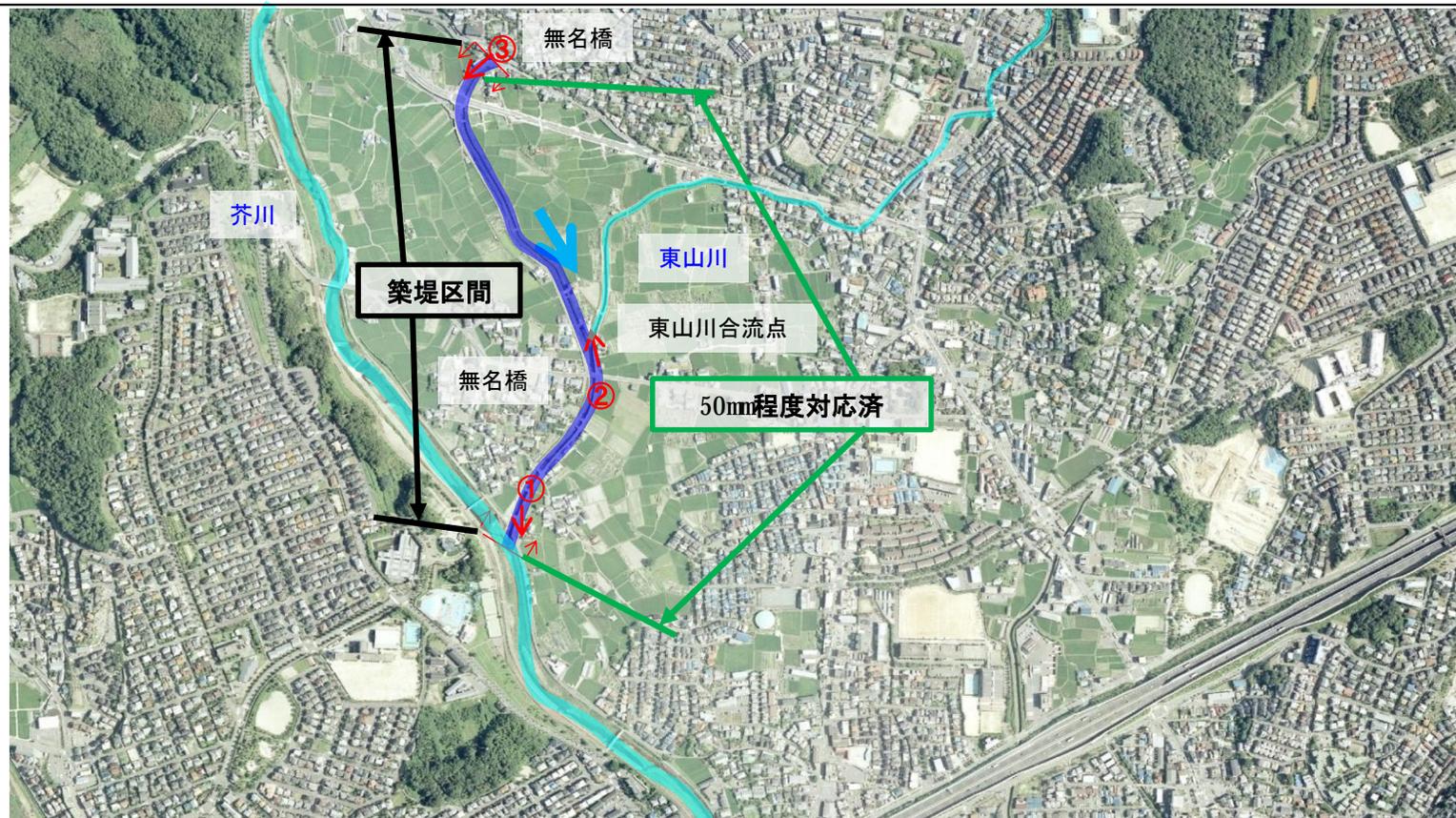
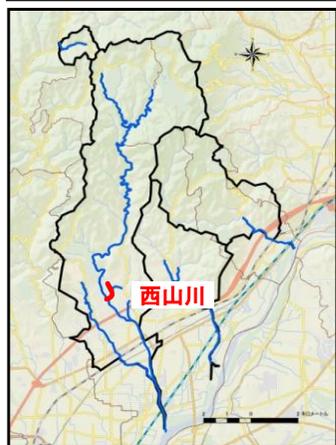
6. 淀川右岸ブロックの現状(真如寺川)

- ・川幅は約5mで、河床勾配は1/35程度である。
- ・河道周辺は市街地となっており、護岸が整備されている。



6. 淀川右岸ブロックの現状(西山川)

- ・川幅は約10mで、河床勾配は1/80~1/140程度である。
- ・河道周辺は概ね農地となっているが、下流部では住宅地となっている。



①芥川との合流部



②無名橋より東山川合流点を見る

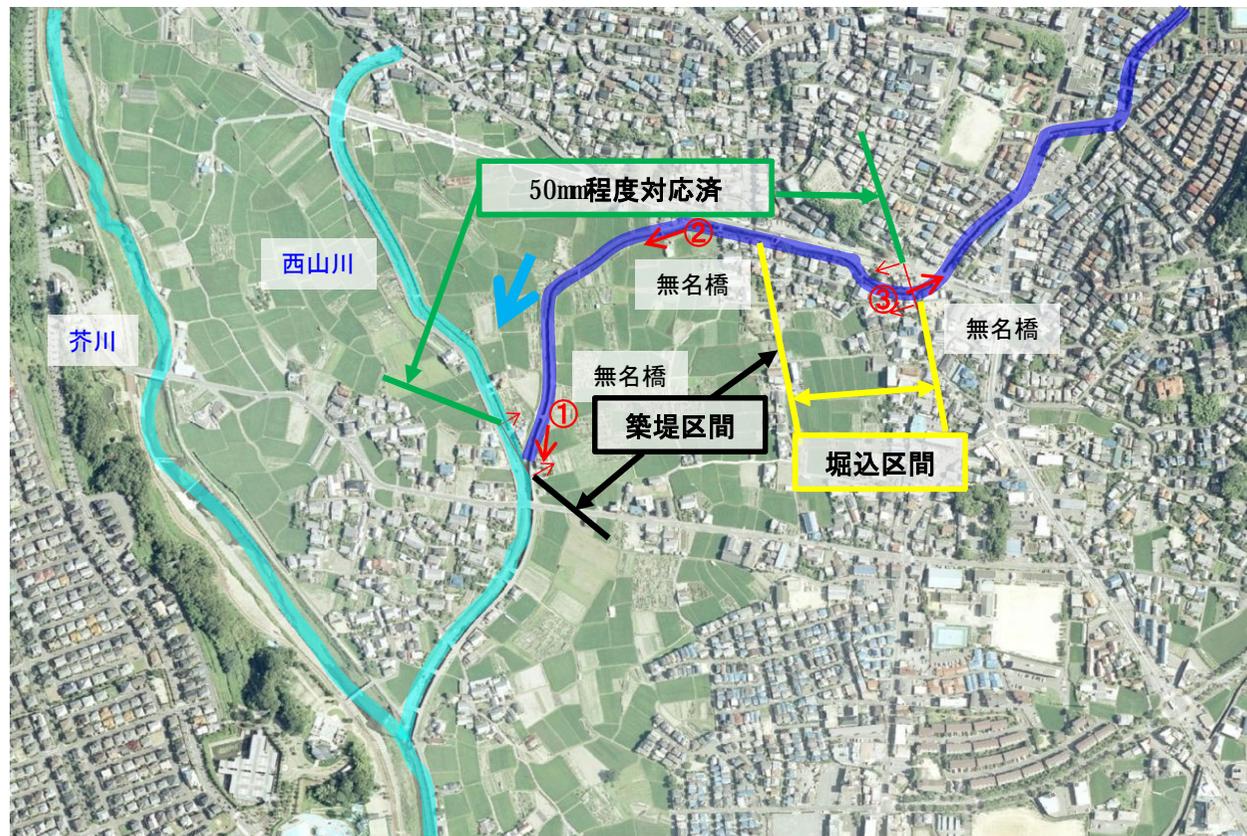


③無名橋から下流を見る



6. 淀川右岸ブロックの現状(東山川)

- 川幅は約5m程度で、河床勾配は1/40程度である。
- 上流部には住宅地が広がり、下流部では農地が広がっている。



①無名橋から西山川合流付近を見る



②無名橋から下流を見る

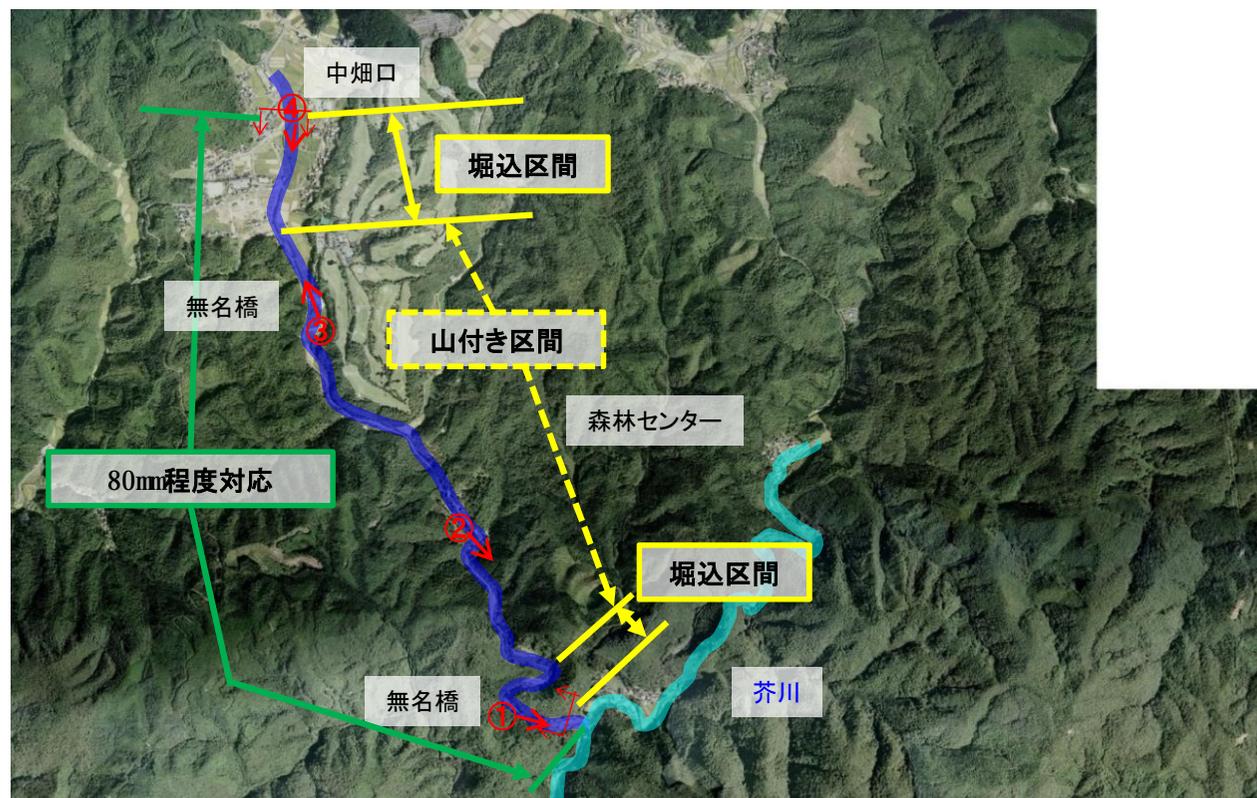


③無名橋から上流を見る



6. 淀川右岸ブロックの現状(田能川)

- ・川幅は約5mで、河床勾配は1/60程度である。
- ・山間部ではあるが、上流域には集落やゴルフ場などがある。



①無名橋より下流を見る



②森林センターより下流を見る



③無名橋から上流を見る



④中畑口付近より下流を見る



6. 淀川右岸ブロックの現状(檜尾川)

● 檜尾川下流区間

(淀川合流点～JR東海道線)

- ・川幅は約25mであるが、淀川合流点付近では約70mに広がっている。
- ・河床勾配は1/250～1/650程度である。
- ・低水路部は矢板護岸、その上部はブロック護岸で整備されており、河道周辺は農地や住宅が広がっている。

① 演習橋より下流を見る。



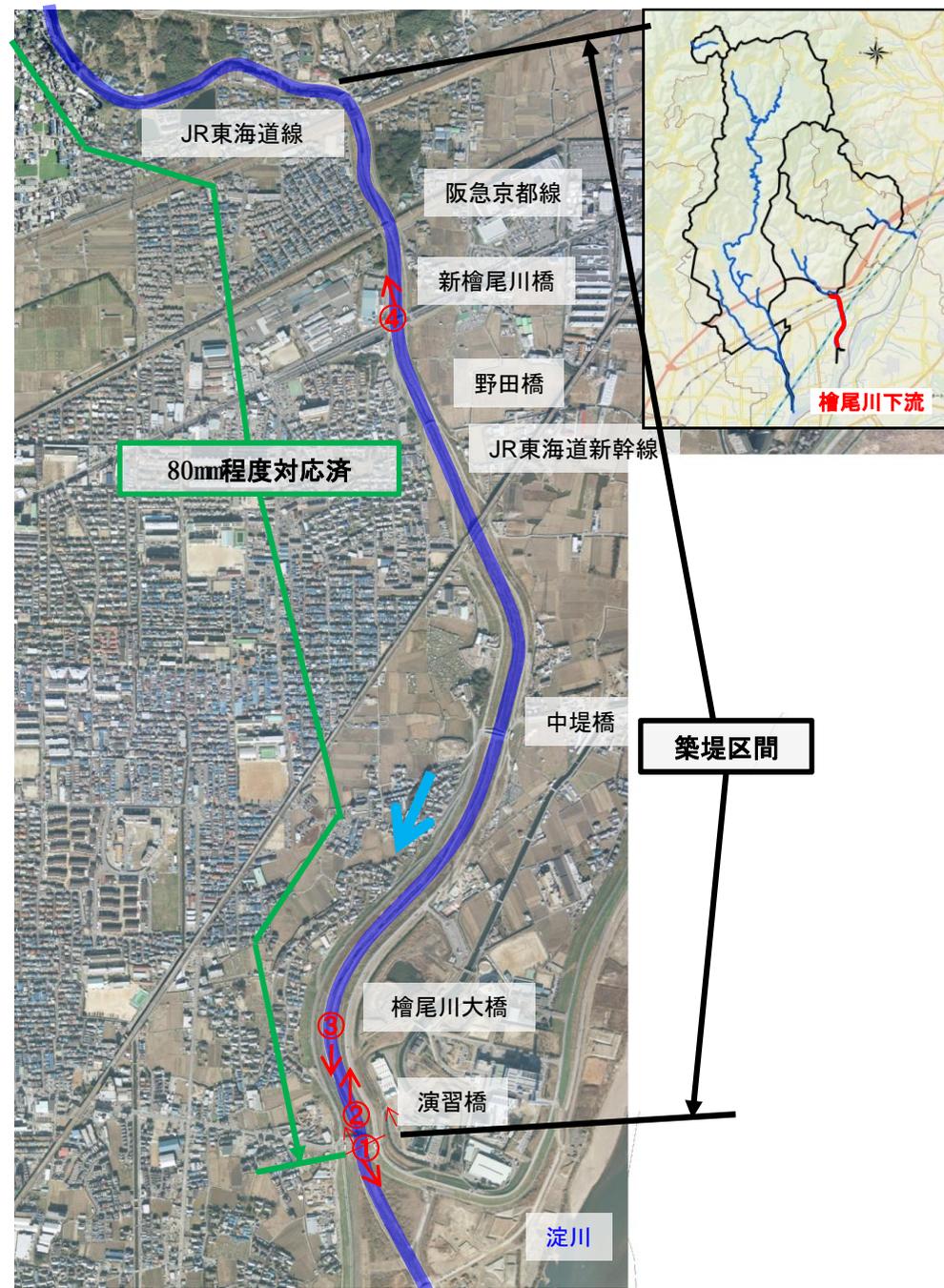
③ 檜尾川大橋より下流を見る。



② 演習橋より上流を見る。



④ 新檜尾川橋より上流を見る



6. 淀川右岸ブロックの現状(檜尾川)

● 檜尾川上流区間(JR東海道線より上流)

- ・川幅は、山間部では約5m、山間部以外では約15m程度である。河床勾配は、一部琴堂橋付近で1/80程度となるが、概ね1/200~1/250程度である。
- ・河道周辺は農地や住宅地となっており、護岸が整備されている。



① 檜尾川橋より下流を見る



④ 磐手橋より下流を見る



6. 淀川右岸ブロックの現状(東檜尾川)

- ・川幅は約5mで、河床勾配は1/20程度である。
- ・上流部では山地及び農地が隣接し、下流部では住宅地が広がっている。

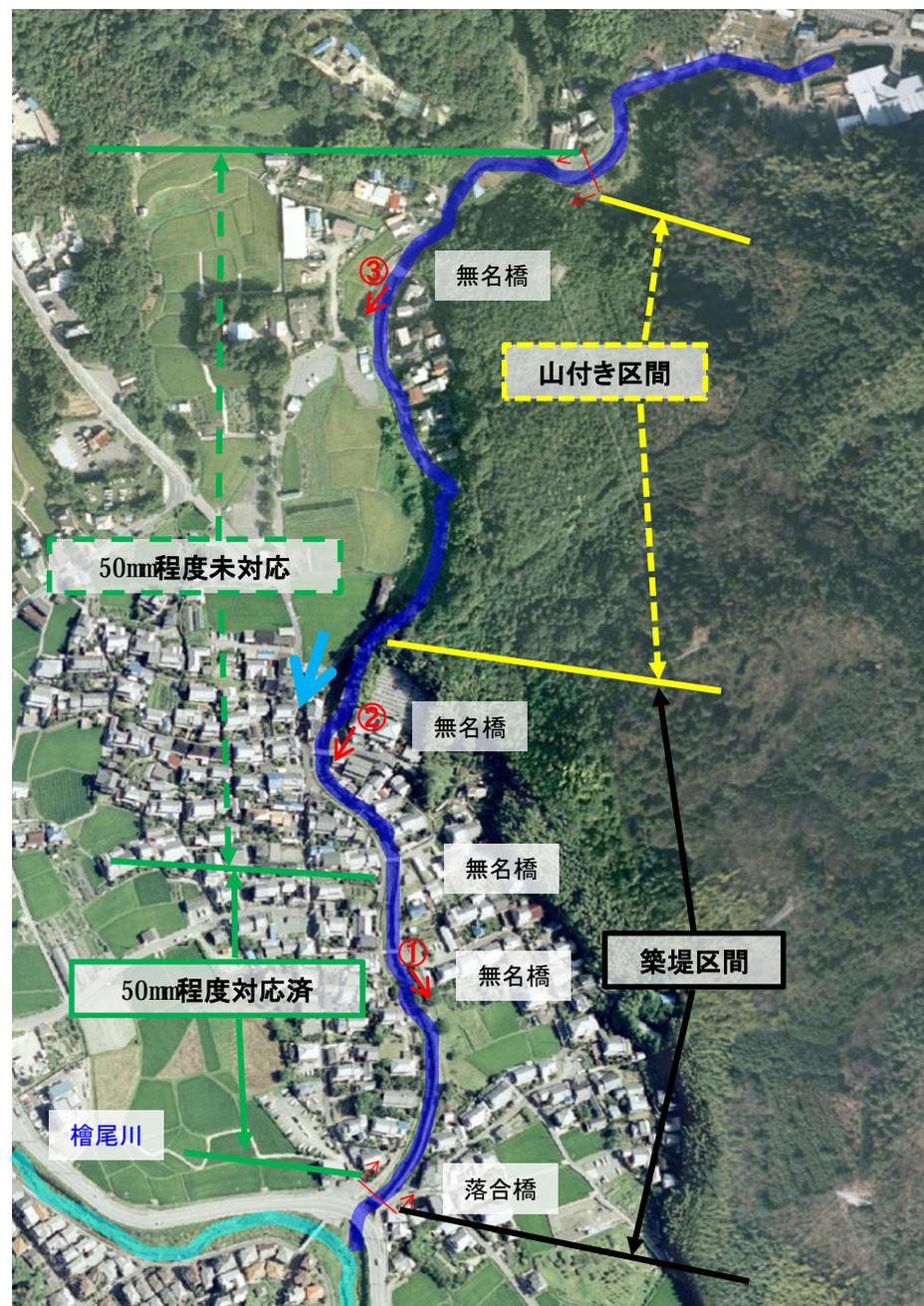
①無名橋から下流を見る



②無名橋から下流を見る



③無名橋から下流を見る



6. 淀川右岸ブロックの現状(水無瀬川)

●水無瀬川

- ・上流部は山地で、川幅が約10mで河床勾配が1/30程度であり、下流部は市街地で、川幅が約25mで河床勾配が1/100～1/200程度である。
- ・JR東海道本線付近に東大寺公園が整備されている。



⑥調子橋上流より調子橋を見る



⑦東大寺公園



①下流より新水無瀬橋を見る



②水無瀬橋下流より下流を見る



③水無瀬橋下流より水無瀬橋を見る



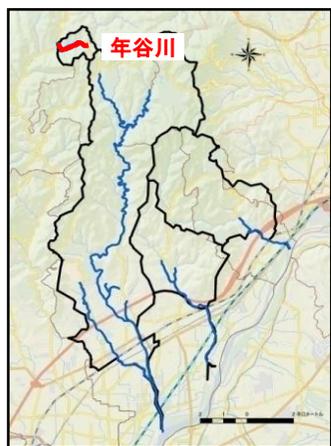
④水無瀬橋上流より下流を見る



⑤調子橋より下流を見る



6. 淀川右岸ブロックの現状(年谷川)

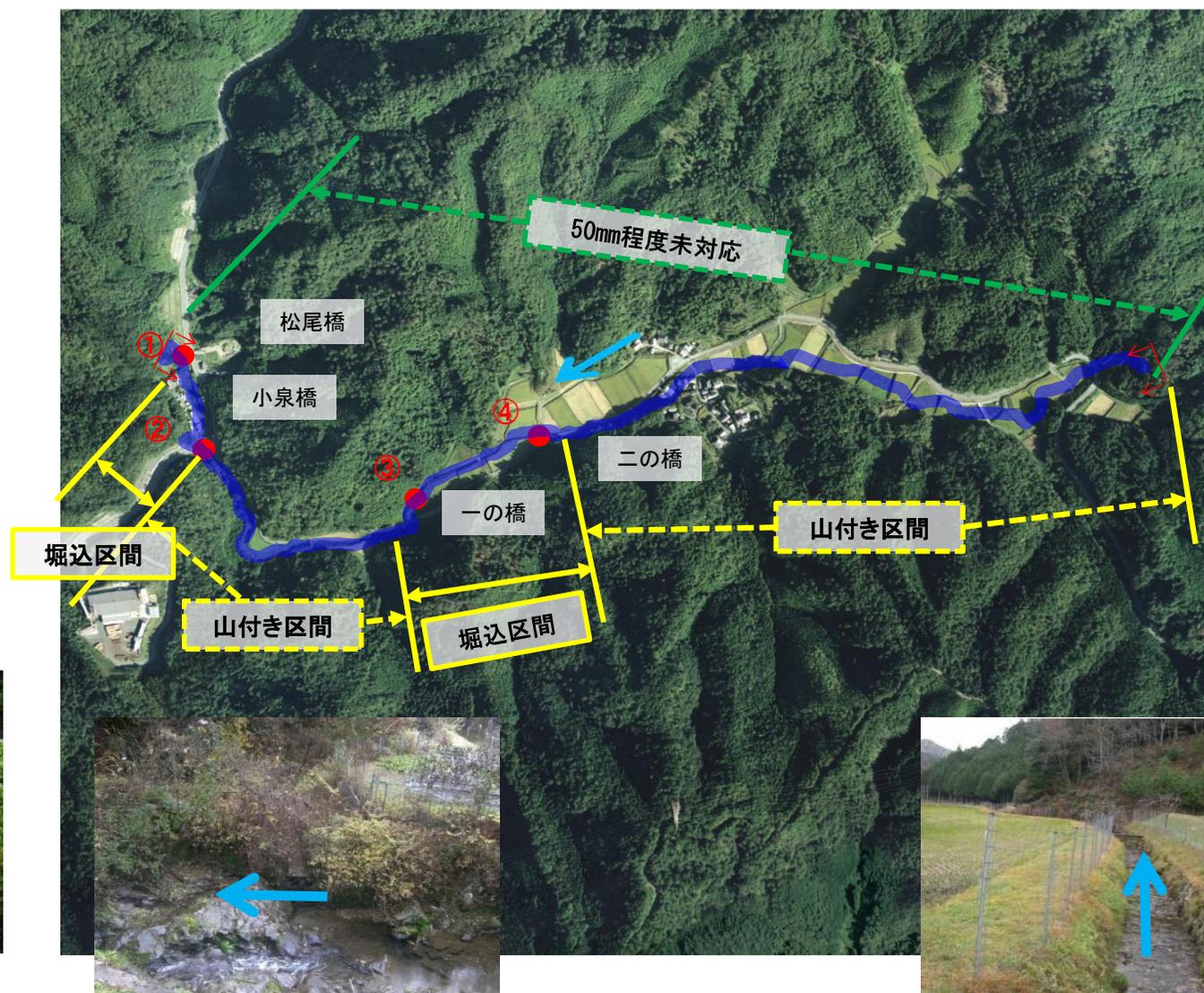


- ・川幅は約5m、河床勾配は1/50程度である。
- ・山地部を流れ、河道周辺は農地として利用されている。

①松尾橋付近



②小泉橋付近



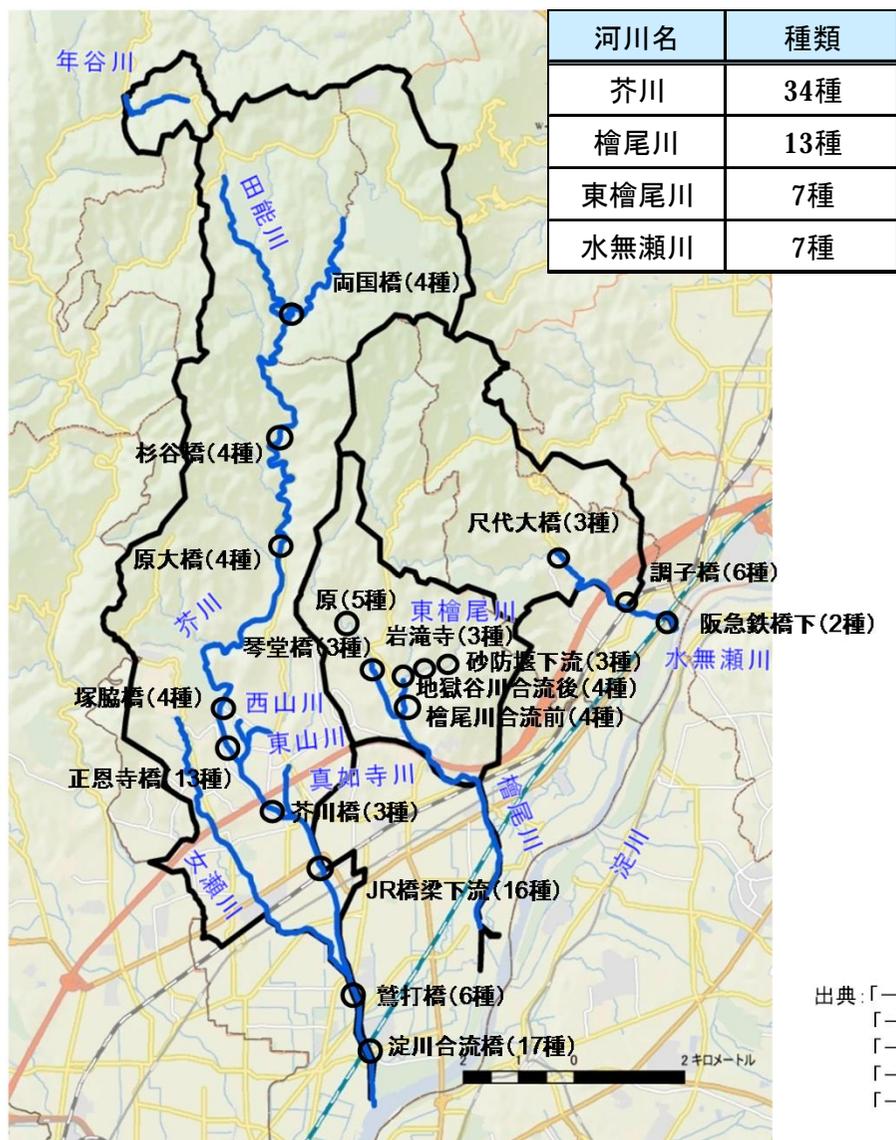
③一の橋付近

④二の橋付近

6. 淀川右岸ブロックの現状(環境)

魚類

既往の調査で、13科34種の魚類の生息が確認され、メダカやドジョウなどの貴重種も確認されている。



メダカ



ドンコ



シマドジョウ



カワヒガイ

確認された貴重種

写真の出典:
「川の生物図典 1996.4 (財)リバーフロント整備センター編」

出典:「一級河川芥川 多自然型護岸検討業務報告書 平成9年3月」
「一級河川茨木川 多自然型護岸検討業務報告書 平成10年3月」
「一級河川安威川外 多自然型護岸検討業務報告書 平成11年2月」
「一級河川芥川 河川環境調査業務委託報告書 平成24年2月」
「一級河川安威川外 河川水辺環境調査委託報告書 平成26年3月」

6. 淀川右岸ブロックの現状(環境)

●底生生物

平成22年度及び25年度の大阪府の調査で、3科3種の貴重種及び4科4種の外来種の生息が確認されている。貴重種としては、モノアラガイ、クロダカワニナ、ホンサナエが確認されている。ゲンジボタルやその餌となるカワニナも確認されており、高槻市のHPによると大阪府の調査では見られなかったヒメボタルについても芥川で確認されています。

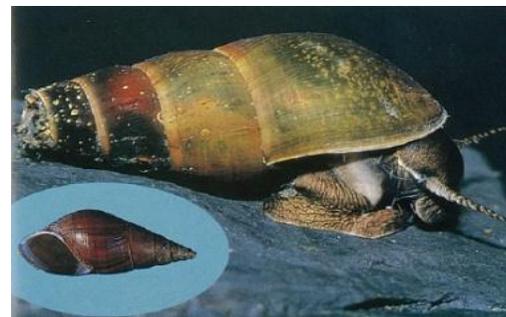


モノアラガイ

写真の出典：「川の生物図典 1996.4 (財)リバーフロント整備センター編」



ゲンジボタル



カワニナ

＜芥川緑地でのホタル観察会＞

平成25年6月に芥川緑地で「ホタルの観察会」が開催された(高槻市主催)。

生物多様性のシンボルであるホタルを観察し、自然環境の大切さを学んでもらおうというもので、多くのヒメボタルとゲンジボタルが確認された。



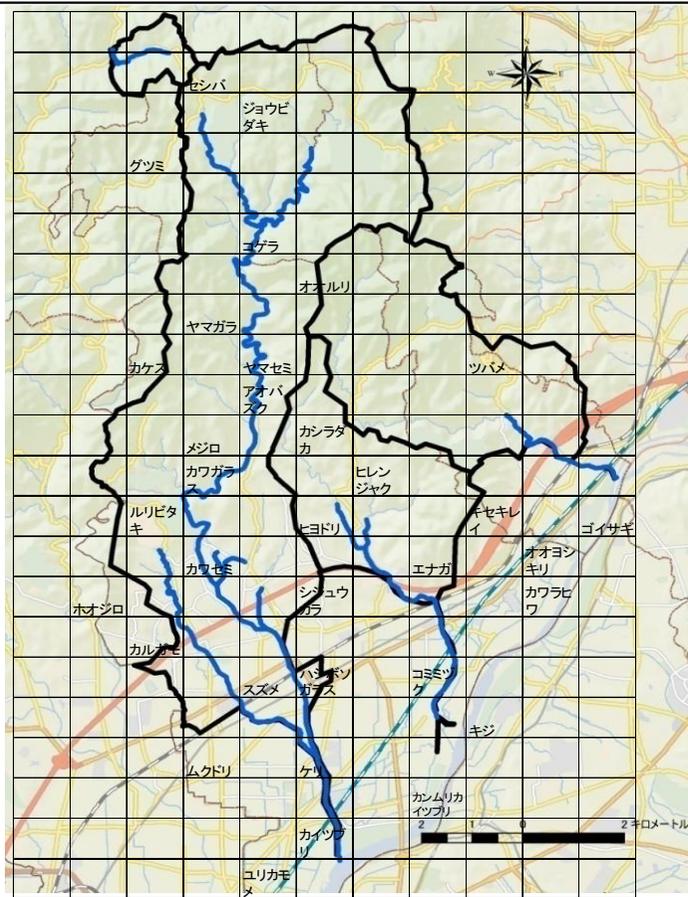
芥川緑地でのホタル観察会の様子
出典：高槻市HP

6. 淀川右岸ブロックの現状(環境)

●鳥類

既往の調査で、36種の鳥類の生息が確認された。貴重種としては、ヤマセミ、カワガラス、オオヨシキリなどが確認されている。

| 種名 | 環境省レッドリスト (2012) | 大阪府RDB (2014) |
|-----------|---------------------|------------------|
| サシバ | 絶滅危惧Ⅱ類 | 絶滅危惧Ⅰ類 |
| ジョウビタキ | | |
| ツグミ | | |
| コゲラ | | |
| オオルリ | | |
| ヤマガラ | | |
| カケス | | |
| ヤマセミ | | 準絶滅危惧 |
| ツバメ | | |
| アオバズク | | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| メジロ | | |
| カシラダカ | | 準絶滅危惧 |
| カワガラス | | 準絶滅危惧 |
| ヒレンジャク | | |
| ルリビタキ | | |
| ヒヨドリ | | |
| キセキレイ | | |
| ゴイサギ | | |
| カワセミ | | |
| エナガ | | |
| オオヨシキリ | | 準絶滅危惧 |
| ホオジロ | | |
| シジュウカラ | | |
| カワラヒワ | | |
| カルガモ | | |
| スズメ | | |
| ハシボソガラス | | |
| コミミヅク | | |
| キジ | | |
| ムクドリ | | |
| ケリ | | 準絶滅危惧 |
| カンムリカイツブリ | | |
| カイツブリ | | |
| ユリカモメ | | |
| コサギ | | |
| トビ | | |



ヤマセミ



カワガラス



オオヨシキリ

| 区分 | 備考 |
|--------|-------------------|
| 絶滅危惧Ⅰ類 | 絶対の危機に瀕している種 |
| 絶滅危惧Ⅱ類 | 全滅の危険が増大している種 |
| 準絶滅危惧 | 存続基盤が貧弱な種 |
| 情報不足 | 評価するだけの情報が不足している種 |
| 要注目 | 注目を要する種 |

写真の出典:
「川の生物図典 1996.4
(財)リバーフロント整備センター編」

6. 淀川右岸ブロックの現状(治水の現状と課題・目標)

| 河川名 | 現状 | 課題 | 目標 |
|------|--|-----------------------|---------------------|
| 芥川 | 昭和35年度より改修に着手し、現在、JR橋梁より下流では時間雨量80ミリ程度、JR橋梁から塚原橋までは、時間雨量50ミリ程度の改修が完成しています。 | 洪水に対する安全性を向上させる必要がある。 | 当面の治水目標は、時間雨量80ミリ程度 |
| 女瀬川 | 時間雨量50ミリ程度の改修が完成しています。 | 洪水に対する安全性を向上させる必要がある | 当面の治水目標は時間雨量80ミリ程度 |
| 東山川 | 時間雨量50ミリ程度の改修が完成しています。 | - | 現状で治水目標レベルを達成済 |
| 西山川 | 時間雨量50ミリ程度の改修が完成しています。 | 洪水に対する安全性を向上させる必要がある。 | 当面の治水目標は、時間雨量80ミリ程度 |
| 真如寺川 | 時間雨量80ミリ程度の改修が完成しています。 | - | 現状で治水目標レベルを達成済 |
| 田能川 | 時間雨量80ミリ程度の改修が完成しています。 | - | 現状で治水目標レベルを達成済 |
| 檜尾川 | 昭和54年度より改修に着手し、名神高速道路より下流では、時間雨量80ミリ程度の改修が完成しています。現在、新名神高速道路の関連事業として、磐手橋付近の時間雨量80ミリ程度の改修を進めています。 | 洪水に対する安全性を向上させる必要がある。 | 当面の治水目標は、時間雨量80ミリ程度 |
| 東檜尾川 | 平成元年度より改修に着手し、現在、時間雨量50ミリ程度の改修を進めています。 | 洪水に対する安全性を向上させる必要がある。 | 当面の治水目標は、時間雨量65ミリ程度 |
| 水無瀬川 | 昭和54年度より改修に着手し、現在、調子橋より上流及び水無瀬橋下流では時間雨量50ミリ程度の改修が完成しています。 | 洪水に対する安全性を向上させる必要がある。 | 当面の治水目標は、時間雨量80ミリ程度 |
| 年谷川 | 洪水被害による人命への影響が小さいことから、現在も未改修の状況です。 | - | - |

7. これからの淀川右岸ブロックでの取り組みについて

●大阪府のビジョン（将来ビジョン大阪）

- 生物多様性が確保できる豊かな自然環境の保全
- 河川環境の改善等による水とみどりのネットワークの創造

●高槻市のビジョン（高槻市都市計画マスタープラン）

- 北摂連山や淀川・芥川などの自然環境と共生する、うるおいのある都市づくり
- 地震・水害など災害に強い安全な都市づくり

●島本町のビジョン（島本町都市計画マスタープラン）

- 水無瀬川、淀川については、治水上重要な河川であり、治水機能を十分発揮させるため、関係機関と連携し、保全・整備に努めます。
- 水無瀬川については、「島本水の文化園構想」の趣旨を踏まえ、治水のみならず親水機能も配慮した整備を行い、水辺のレクリエーション空間づくりに努めます。
- 水無瀬川については、本町のシンボル河川として、水と緑と歴史の回廊として保全・整備を促進します。



Ⅰ 治水対策を実施するにあたっては、水と緑のネットワークの構築、河川が持つ多様な自然環境に配慮し、流域住民が身近に親しめる水辺空間の創造、地域の歴史や景観に配慮した河川整備が望まれています。

7. これからの淀川右岸ブロックでの取り組みについて

河川整備計画の目標

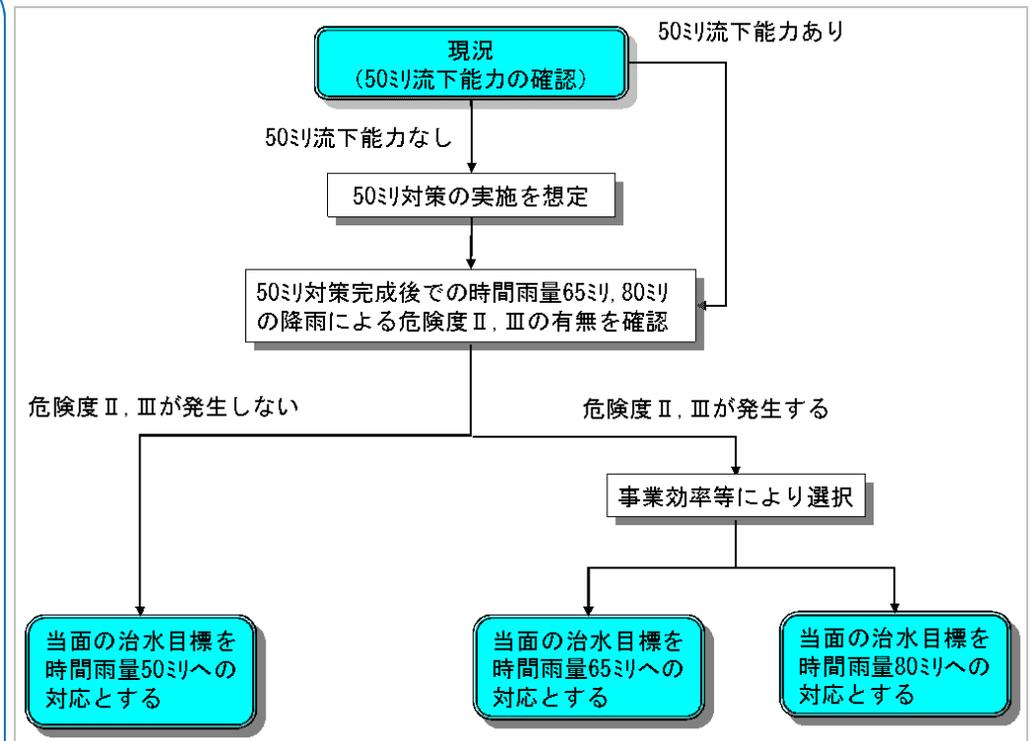
1) 洪水対策

I 当面の治水目標（今後20～30年程度）

- ◆基本理念：人命を守ることを最優先とする。
- ◆大阪府全域で時間雨量50ミリ程度の降雨に対して床下浸水を防ぐ。
- ◆その後、事業効率等を考慮して、時間雨量65ミリ程度もしくは時間雨量80ミリ程度のいずれかの降雨による床上浸水を防ぐ。

II 淀川右岸ブロックの当面の治水目標

- ◆芥川・女瀬川・西山川・檜尾川・水無瀬川
：時間雨量80ミリ程度
- ◆東檜尾川：時間雨量65ミリ程度
- ◆その他：現状で目標治水レベル達成済



当面の治水目標設定フロー

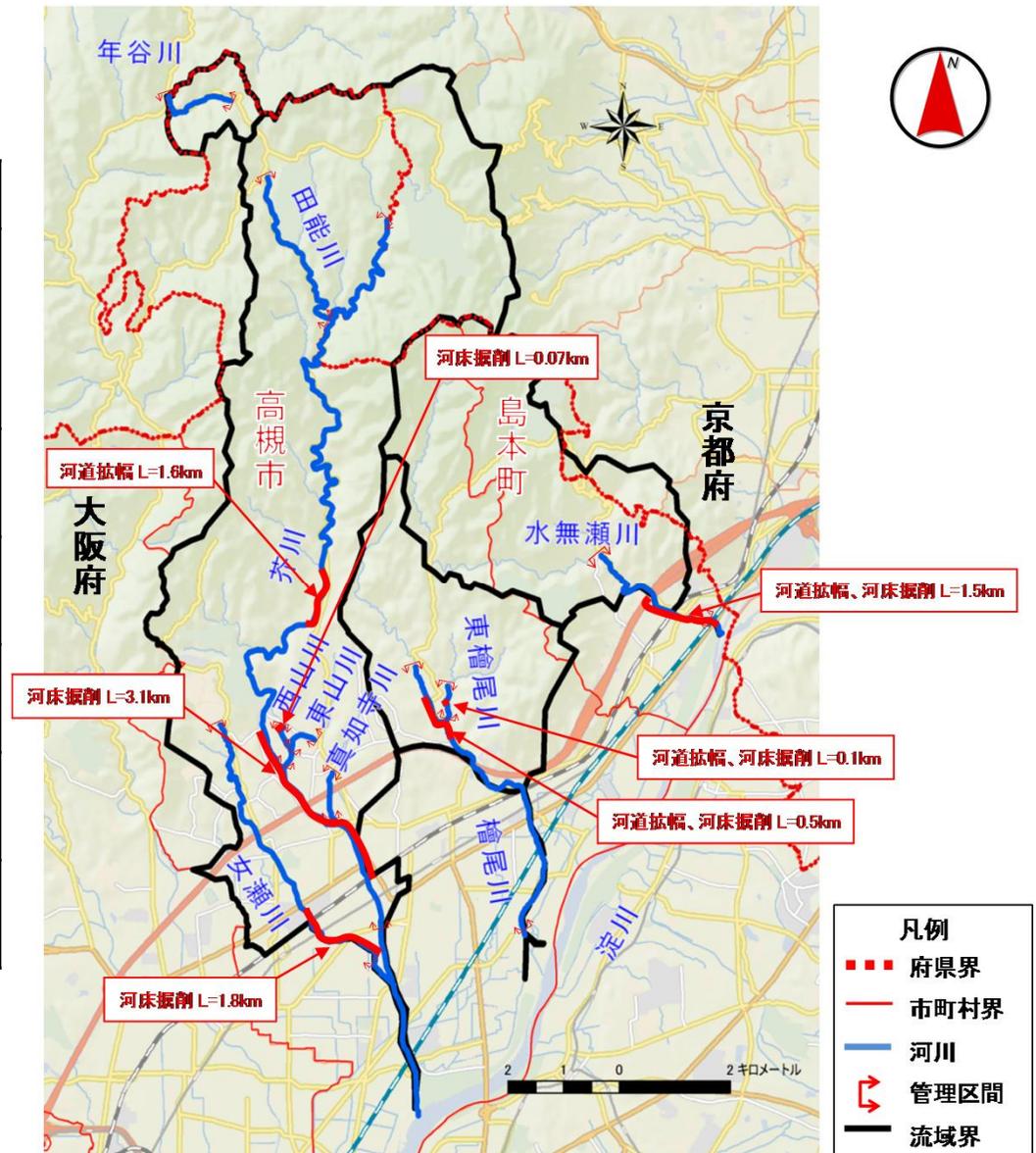
ただし、当面の治水目標に基づく河川整備が進んでも危険度Ⅰ（床下浸水）は残る箇所もあります。

7. これからの淀川右岸ブロックでの取り組みについて

1. 洪水対策

整備対象区間

| 河川名 | 整備対象区間 | 整備延長 |
|------|---|---------|
| 芥川 | JR芥川橋梁下流～西川原橋上流 (4.0km～7.1km) 摂津峡橋大橋上流～原大橋下流 (10.0km～11.6km) | 約4.70km |
| 女瀬川 | 津之江5号橋下流～JR女瀬川橋上流 (0.4km～2.2km) | 約1.80km |
| 西山川 | 無名橋上流～無名橋下流 (0.85km～0.92km) | 約0.07km |
| 檜尾川 | 磐手橋上流～弥生橋上流 (4.5km～5.65km) | 約0.50km |
| 東檜尾川 | 無名橋上流～無名橋下流 (0.45km～0.55km) | 約0.10km |
| 水無瀬川 | 水無瀬橋上流～谷川橋下流 (0.0km～1.5km) | 約1.50km |



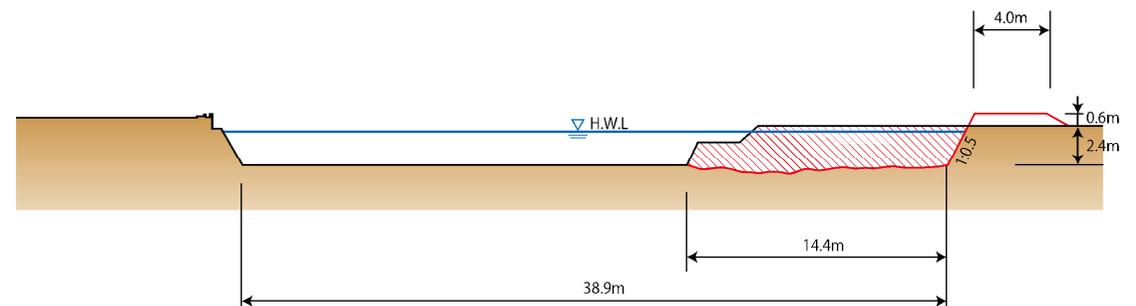
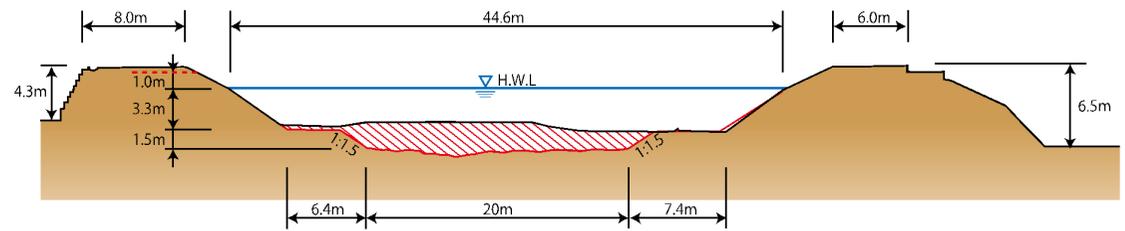
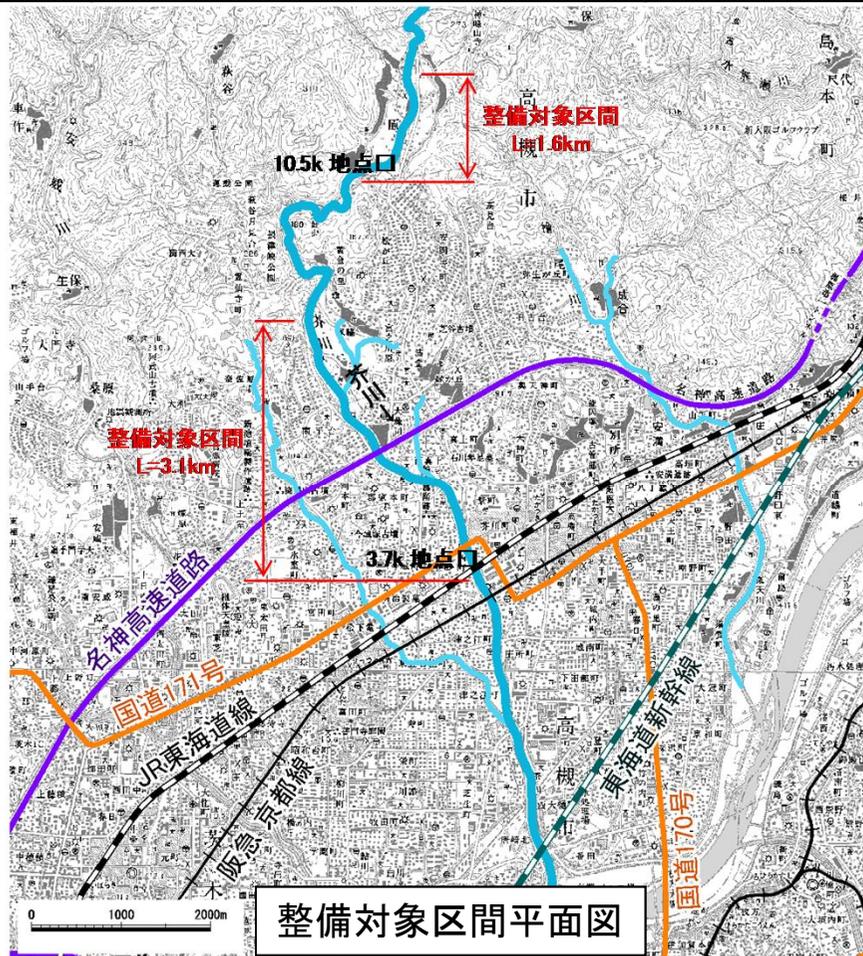
整備対象区間平面図

7. これからの淀川右岸ブロックでの取り組みについて

(1) 芥川の洪水対策

整備対象区間と整備内容

| 河川名 | 整備対象区間 | 整備内容 |
|-----|------------------------------------|---|
| 芥川 | ①JR芥川橋梁下流～西川原橋上流 (4.0km～7.1km) | 河床掘削により流下能力を確保します。河道改修の際には、河岸やみお筋の保全、周辺環境との調和に配慮し、上下流の水生生物移動の連続性の確保に努めます。 |
| | ②摂津峡橋大橋上流～原大橋下流 (10.0km～11.6km) | 河道拡幅により流下能力を確保します。河道改修の際には、河岸やみお筋の保全、周辺環境との調和に配慮し、上下流の水生生物移動の連続性の確保に努めます。 |

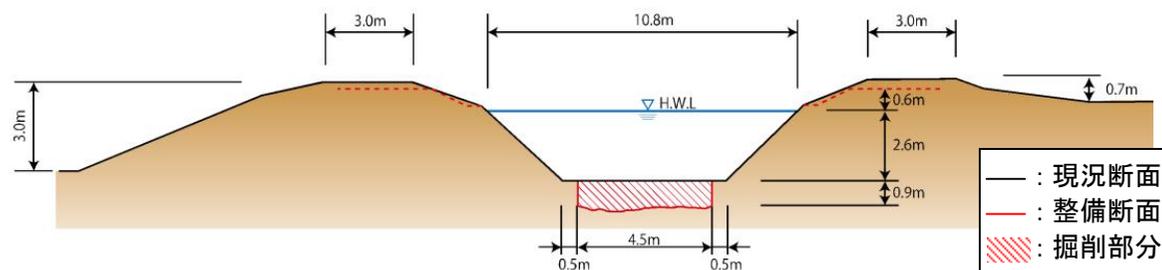
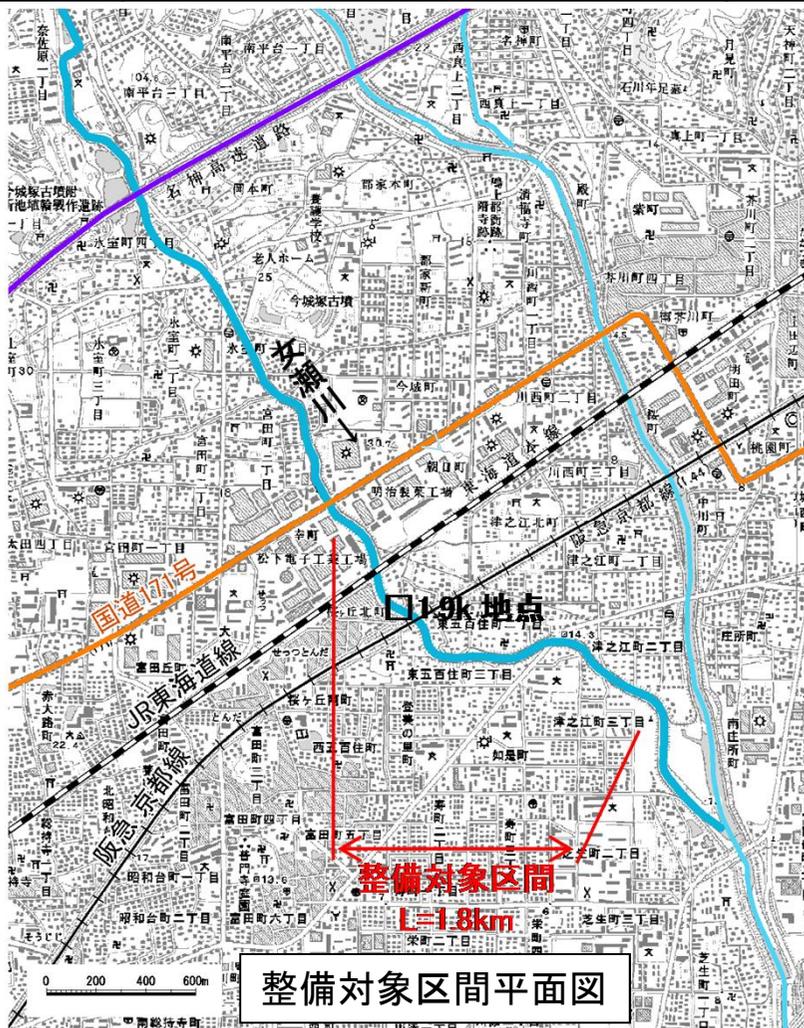


7. これからの淀川右岸ブロックでの取り組みについて

(2) 女瀬川の洪水対策

整備対象区間と整備内容

| 河川名 | 整備対象区間 | 整備内容 |
|-----|-------------------------------------|---|
| 女瀬川 | ①津之江5号橋下流～JR女瀬川橋上流 (0.4km～2.2km) | 河床掘削により流下能力を確保します。 河道改修の際には、河岸やみお筋の保全、周辺環境との調和に配慮し、上下流の水生生物移動の連続性の確保に努めます。 |



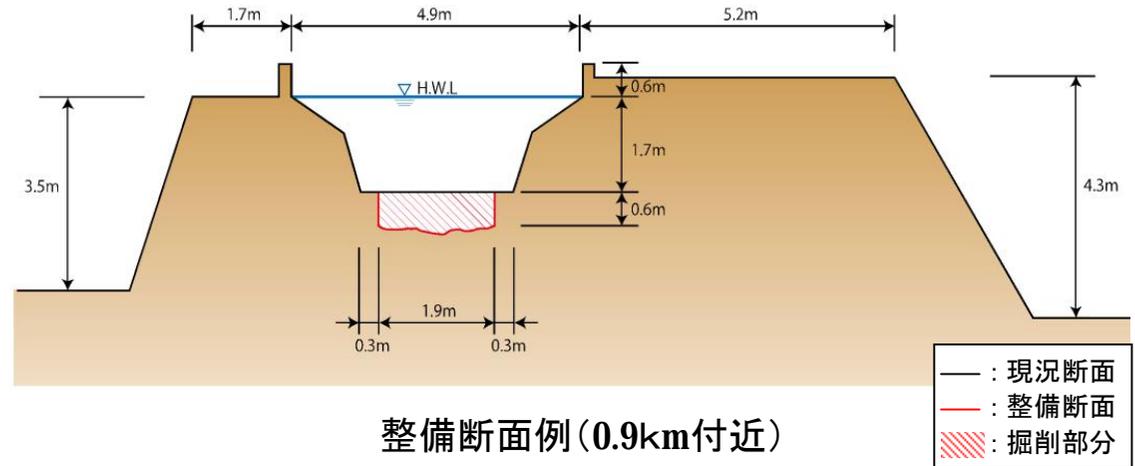
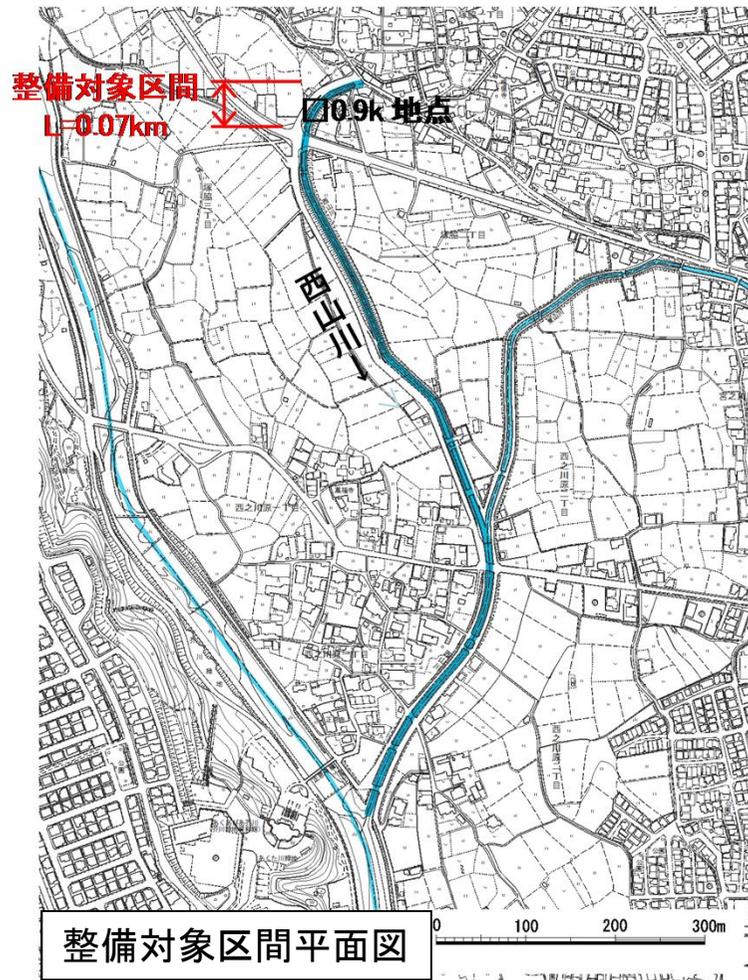
整備断面例 (1.9km付近)

7. これからの淀川右岸ブロックでの取り組みについて

(3) 西山川の洪水対策(P24)

整備対象区間と整備内容

| 河川名 | 整備対象区間 | 整備内容 |
|-----|---------------------------------|---|
| 西山川 | ①無名橋上流～無名橋下流 (0.85km～0.92km) | 河床掘削により流下能力を確保します。 河道改修の際には、河岸やみお筋の保全、周辺環境との調和に配慮し、上下流の水生生物移動の連続性の確保に努めます。 |

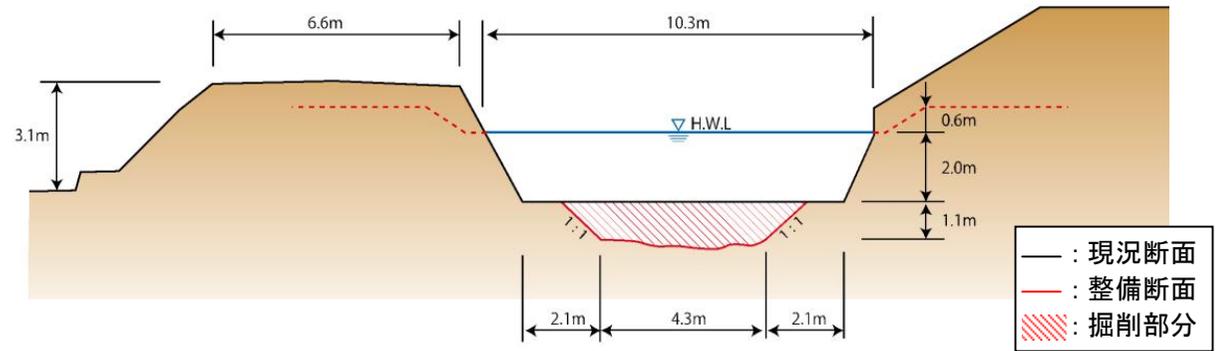


7. これからの淀川右岸ブロックでの取り組みについて

(4) 檜尾川の洪水対策

整備対象区間と整備内容

| 河川名 | 整備対象区間 | 整備内容 |
|-----|---------------------------------|---|
| 檜尾川 | ① 磐手橋上流～弥生橋上流 (4.5km～5.65km) | 河床掘削により流下能力を確保します。 河道改修の際には、河岸やみお筋の保全、周辺環境との調和に配慮し、上下流の水生生物移動の連続性の確保に努めます。 |



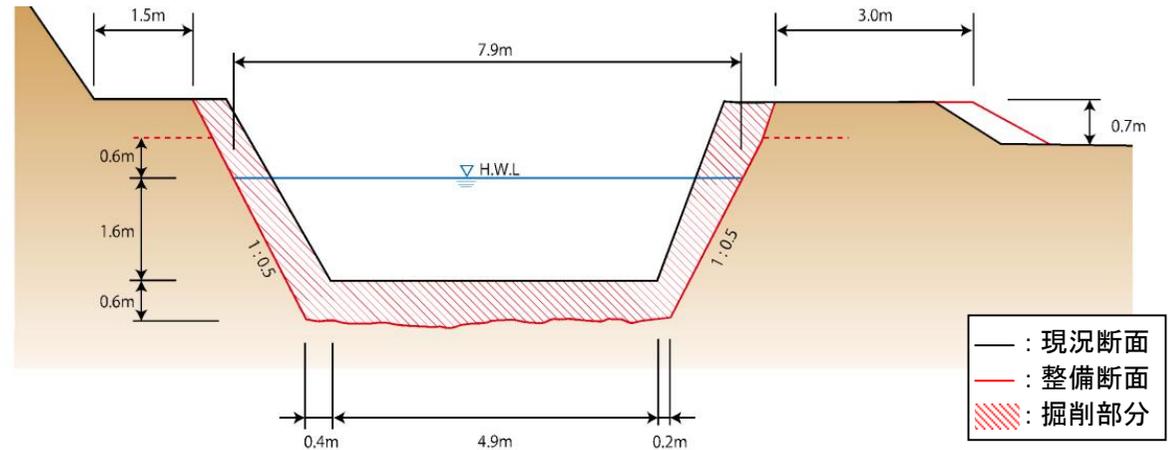
整備断面例(5.6km付近)

7. これからの淀川右岸ブロックでの取り組みについて

(5) 東檜尾川の洪水対策

整備対象区間と整備内容

| 河川名 | 整備対象区間 | 整備内容 |
|------|---------------------------------|---|
| 東檜尾川 | ①無名橋上流～無名橋下流 (0.45km～0.55km) | 河道拡幅及び河床掘削により流下能力を確保します。 河道改修の際には、河岸やみお筋の保全、周辺環境との調和に配慮し、上下流の水生生物移動の連続性の確保に努めます。 |



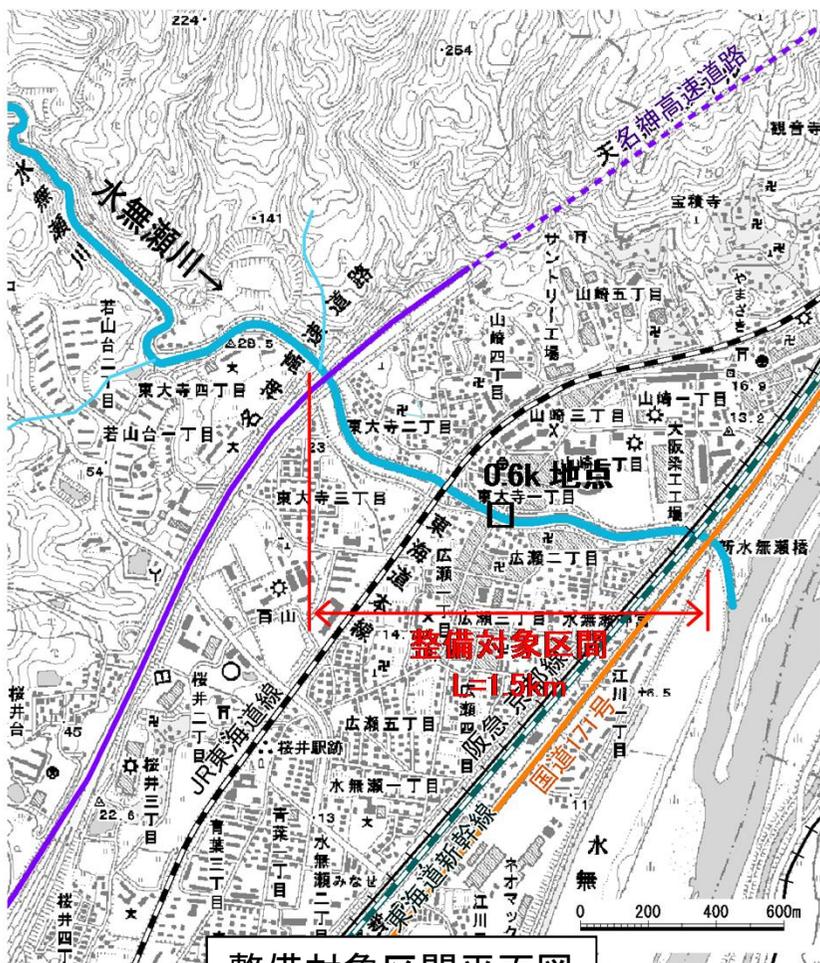
整備断面例(0.5km付近)

7. これからの淀川右岸ブロックでの取り組みについて

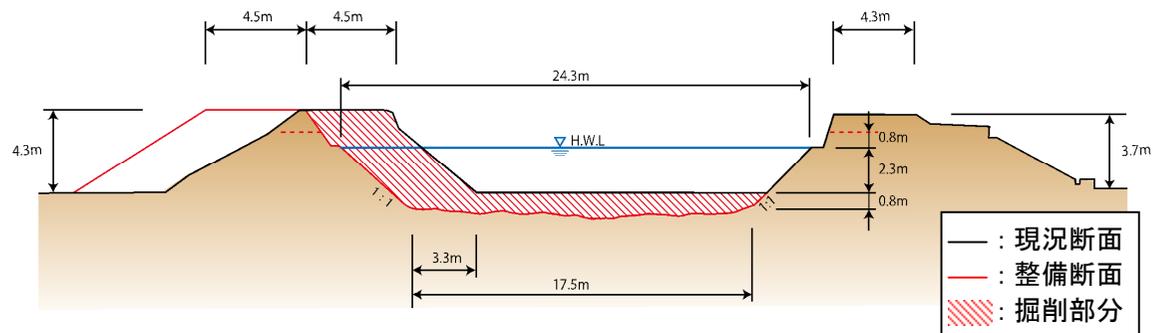
(6) 水無瀬川の洪水対策

整備対象区間と整備内容

| 河川名 | 整備対象区間 | 整備内容 |
|------|--------------------------------|---|
| 水無瀬川 | ①水無瀬橋上流～谷川橋下流 (0.0km～1.5km) | 河道拡幅及び河床掘削により流下能力を確保します。 河道改修の際には、河岸やみお筋の保全、周辺環境との調和に配慮し、上下流の水生生物移動の連続性の確保に努めます。 |



整備対象区間平面図



整備断面例(0.6km付近)

7. これからの淀川右岸ブロックでの取り組みについて

2. 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

(1) 水量

| 現状・課題 | 目標 | 実施 |
|---|--|--|
| 平成24年の芥川の流況は、濁水流量は0.10m ³ /s、低水流量は0.31m ³ /sとなっています。水無瀬川は古くから、濁水期に中流部が干上がることで知られています。市街化の進展に伴う農地の減少による水需要の変動や年間の流量変動、洪水時の動態等、総合的な観点から評価、対策の必要性等の把握を行う必要があります。 | 河川の適正な利用および流水の正常な機能維持に関しては、今後とも、適正かつ効率的な水利用を目指します。 | 流水の正常な機能を維持し適正な河川管理を行うため、継続的な雨量、水位の観測データの蓄積と分析による水量の状況把握や取水堰等の流水の利用実態の調査を行います。 |



水無瀬川の瀬切れの状況

7. これからの淀川右岸ブロックでの取り組みについて

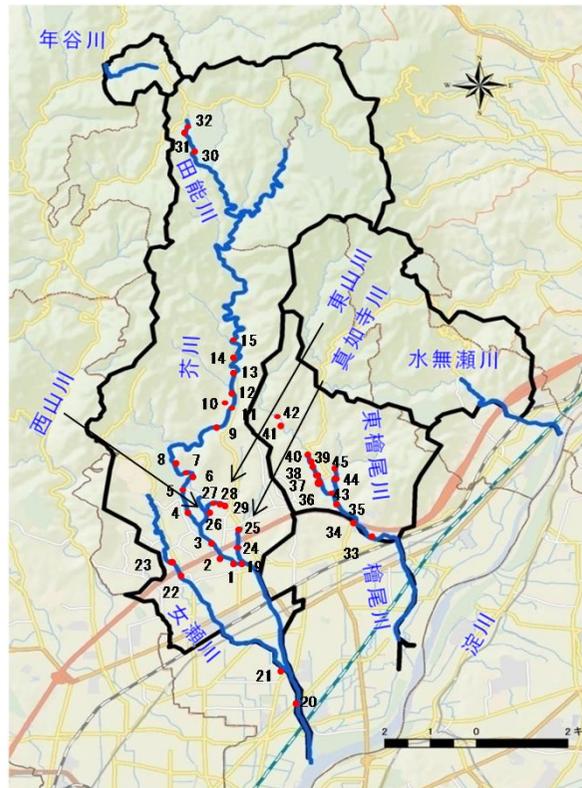
2. 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

(2) 水利用

| 現状・課題 | 目標 | 実施 |
|--|---|---|
| <p>河川水は取水堰等により取水され、農業用水として利用されています。</p> <p>淀川右岸ブロックの下流域においては、淀川(五領揚水機場)からポンプ取水された水が、広範囲にわたって、かんがい用水として利用されています。</p> <p>今後、水利用の実態調査や利水者、関係機関との協議を踏まえ、現状の把握に努めるとともに、ため池の有効利用などにより、健全な水循環となるよう、取り組む必要があります。</p> | <p>河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関しては、今後とも、適正かつ効率的な水利用を目指します。</p> | <p>流水の正常な機能を維持し適正な河川管理を行うため、継続的な雨量、水位の観測データの蓄積と分析による水量の状況把握や取水堰等の流水の利用実態の調査を行います。</p> |



檜尾川の取水堰



芥川・檜尾川等 取水施設位置図

芥川水系 取水施設諸元

| 番号 | 河川名 | 施設名 |
|----|------|-----------|
| 1 | 芥川 | 水疎用水樋 |
| 2 | | 下井出井堰 |
| 3 | | 今井手井堰 |
| 4 | | 川島井井堰 |
| 5 | | 田刈井堰 |
| 6 | | 服部一の湯井堰 |
| 7 | | 広用水取水口 |
| 8 | | 一の川原井堰 |
| 9 | | 佐倉用水樋 |
| 10 | | 大島堰堤 |
| 11 | | 川原井出井堰 |
| 12 | | 下垣内頭首工 |
| 13 | | 今井堰堤 |
| 14 | | 西垣内堰堤 |
| 15 | | 大井出頭首工 |
| 16 | | 鬼ヶ谷堰堤 |
| 17 | | 島崎用水 |
| 18 | | あまが瀨取水口 |
| 19 | | 岩尾堰堤 |
| 20 | | 建切用水樋 |
| 21 | | 芝生大樋樋門 |
| 22 | 女瀬川 | 芝生用水樋 |
| 23 | | 水室川水門 |
| 24 | 真如寺川 | 中の池井堰 |
| 25 | | 北畑取水口 |
| 26 | 東山川 | キツネ塚取水口 |
| 27 | | 東田刈用水取水口 |
| 28 | | 宮之川原第3取水口 |
| 29 | | 宮之川原第2取水口 |
| 30 | | 宮之川原第1取水口 |
| 31 | 田能川 | 寿代1号取水口 |
| 32 | | スハノ下2号取水口 |
| | | スハノ下1号取水口 |

檜尾川水系 取水施設諸元

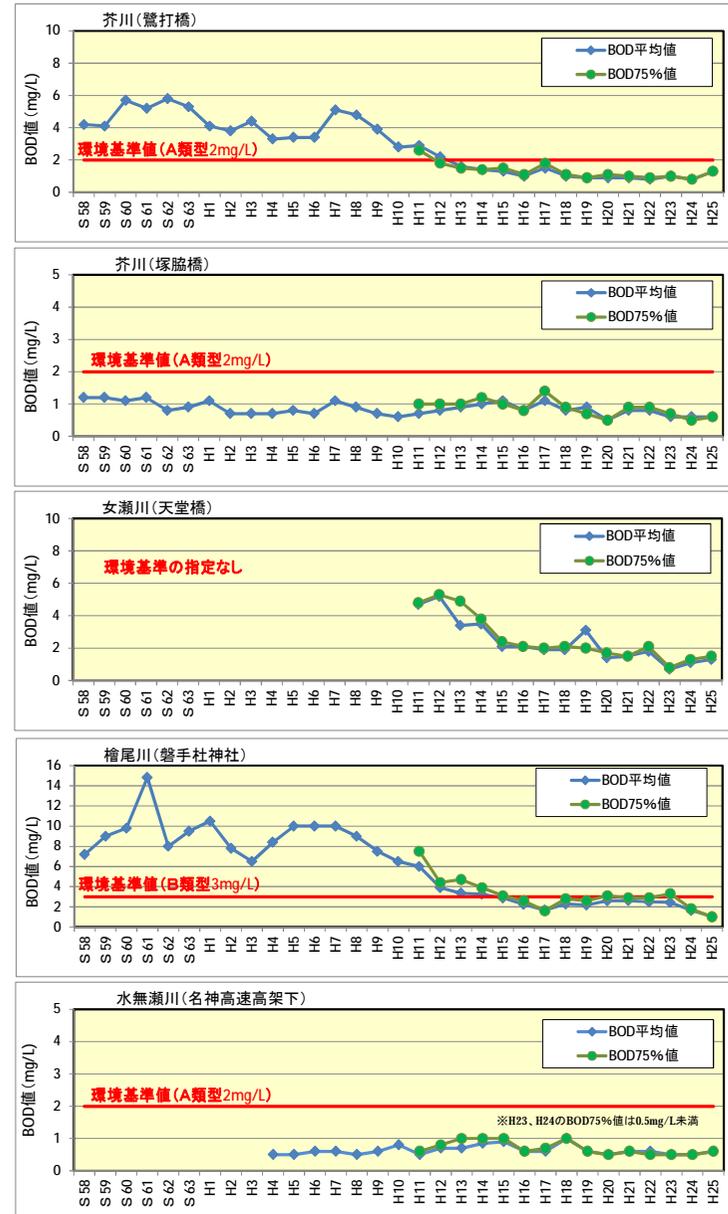
| 番号 | 河川名 | 施設名 |
|----|------|--------------|
| 33 | 檜尾川 | 檜尾川堰堤 |
| 34 | | 安満用水取水口 |
| 35 | | 佐保用水樋管 |
| 36 | | 笠松樋管 |
| 37 | | 西条樋管 |
| 38 | | 琴堂用水樋管 |
| 39 | | 麻野河原樋管 |
| 40 | | 西谷用水樋 |
| 41 | | さいか堰堤 |
| 42 | | 原熊ヶ谷用水第1号取水口 |
| 43 | 東檜尾川 | 尾崎河原取水口 |
| 44 | | 総数樋管 |
| 45 | | 西北浦取水口 |

7. これからの淀川右岸ブロックでの取り組みについて

3. 河川環境の整備と保全

(1) 水質

| | |
|------------------|--|
| <p>現状</p> | <p>芥川の水質汚濁にかかわる環境基準は京都府界から塚脇橋までがA類型、塚脇橋より下流の淀川合流点までがB類型に指定されています。檜尾川は全域B類型、水無瀬川は全域A類型に指定されています。</p> <p>平成25年度の調査では、いずれの地点も環境基準を満足しています。</p> <p>このように、淀川右岸ブロックの各河川では環境基準を満足し、良好な水質ですが、今後も継続して維持していく必要があります。</p> |
| <p>目標</p> | <p>下水道等の関係機関や、地域住民と連携し、より一層の改善を目指します。また河川で活動している地域住民やNPO等との連携し、河川美化、環境教育などにより水質の改善を目指します。</p> |
| <p>実施</p> | <p>環境基準を満足することはもとより、多様な生物の生息・生育環境を保全するため、流域市町の環境部局による行政指導や下水道整備・接続を促進し、河川への生活排水の流入の削減に努めます。また、関係機関や地域住民、学校、NPO等と連携し、水質改善に向けた環境学習、啓発活動を進めます。</p> |



水質調査結果

7. これからの淀川右岸ブロックでの取り組みについて

3. 河川環境の整備と保全

(2) 空間利用

| 現状・課題 | 目標 | 実施 |
|---|---|---|
| <p>芥川や水無瀬川の公園や渓谷は、花見や散歩、水あそび、釣りなど楽しむ多くの人々にぎわっています。</p> <p>芥川や檜尾川、水無瀬川では、地元の多くの有志、団体により定期的に河川清掃のボランティア活動が行われています。芥川、檜尾川においてはアドプト・リバー・プログラムの活動が行われています。</p> <p>このような活動を行うにあたり、河道内へのアクセスの乏しい箇所については、地域住民のニーズに応じて、河道内へのアクセスの改善を図る必要があります。</p> | <p>河川環境の整備にあたっては、河川を利用する人々の憩いの場となるよう親水性に配慮した整備を目指します。</p> | <p>河道内へのアクセスの乏しい河川では、安全対策と利用ルールを策定し、親水階段の設置等、地域住民のニーズを踏まえ、アクセスの改善を図ります。</p> <p>また、芥川では、高槻市が申請、平成26年3月に国土交通省が登録した「かわまちづくり」計画に基づき、河川整備や遊歩道整備等を行います。</p> |



摂津峡公園



芥川緑地(あくあびあ芥川)



こいのぼりフェスタ



土のうによる護岸崩落の整備



特定外来生物「ミスヒマワリ」駆除活動



桜堤公園



防災ステーション



東大寺公園



芥川クリーンアップ大作戦



水辺の手紙

河川空間利用状況

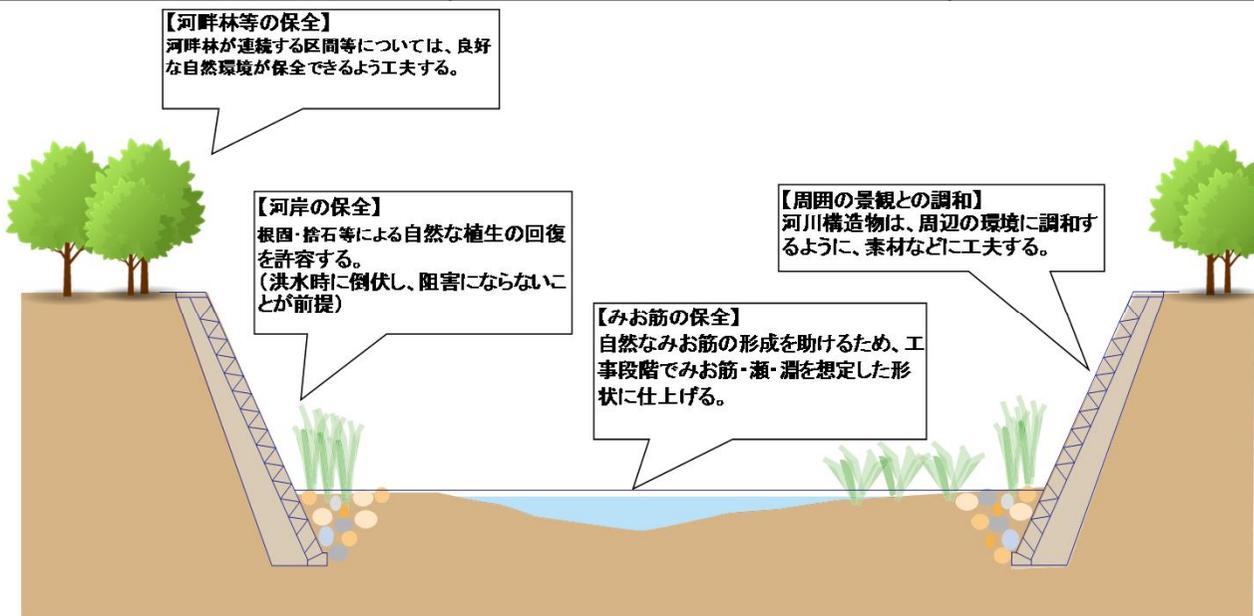
地域連携

7. これからの淀川右岸ブロックでの取り組みについて

3. 河川環境の整備と保全

(3) 自然環境

| 現状・課題 | 目標 | 実施 |
|---|---|--|
| <p>淀川右岸ブロックの各河川では、取水堰等の落差により、多くの生物の行動範囲が限定され易い状況ではありますが、その状況下でも取水堰を遡上している種も確認されています。芥川では、回遊性のアユが、平成23年の調査結果において、広範囲で確認されています。</p> <p>このことから取水堰に設置されている魚道については、その機能を今後とも維持していく必要があります。また、魚道が未設置の取水堰や落差工に対して、河川における連続性の確保について検討する必要があります。</p> | <p>河川工事実施に際しては、河川全体の自然の営みや周辺環境の土地利用状況を視野に入れたうえで、「河岸やみお筋の保全」、「上下流の生物移動の連続性確保」、「周囲の景観との調和」など河川毎の特性に応じ、多自然川づくりを取り入れ、それぞれの河川が本来有している生物の生息・生育環境の保全・再生を目指します。</p> | <p>農業用の取水堰や床止め工等の河川横断構造物の調査を行い、利用実態のない取水堰の撤去や床止め工の改善と合わせて、魚道の設置等により上下流の連続性の確保に努めます。また、整備や補修を実施する際には、自然環境や景観に配慮し、適切な対策を行います。なお、淀川本川との合流点付近の落差については、改善の必要性や実現性等について関係機関と協議を行います。</p> |



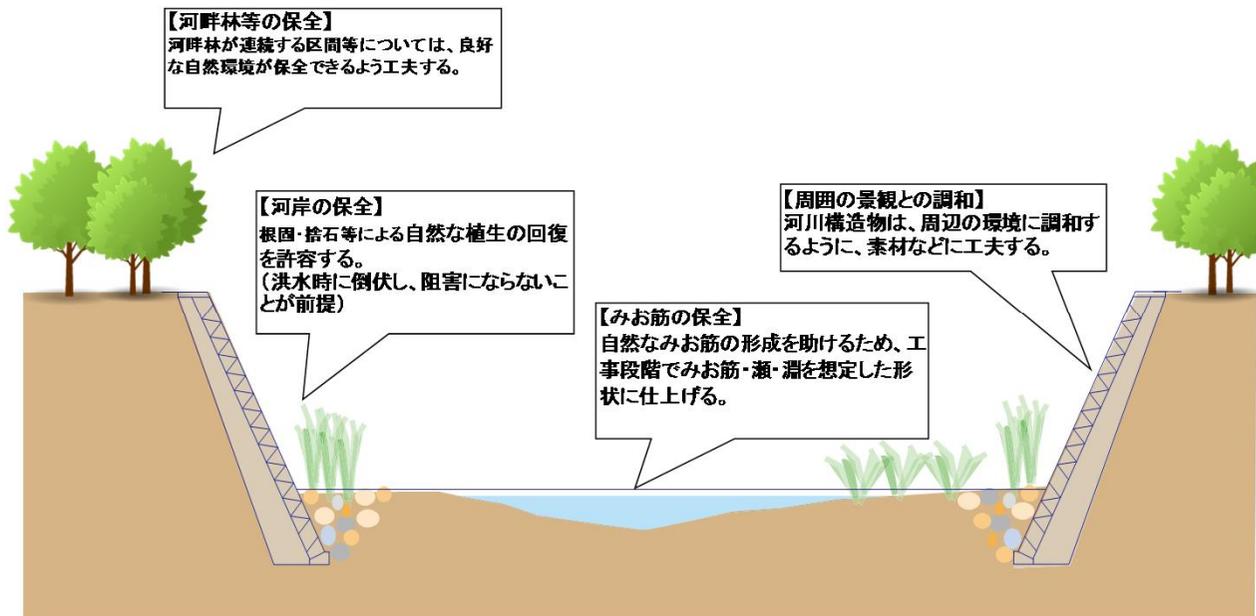
多自然川づくりイメージ図

7. これからの淀川右岸ブロックでの取り組みについて

3. 河川環境の整備と保全

(4) 景観

| 現状・課題 | 目標 | 実施 |
|---|--|---|
| <p>芥川、檜尾川、水無瀬川は、一部を除いて、コンクリートブロック積護岸等が連続するため、人工的な景観となっており、また、瀬と淵が分布している箇所や砂州に植生が繁茂している箇所も見られます。</p> <p>河川整備や維持管理にあたっては、砂州上の植生は、流水の阻害となるため、改善を図りつつも、周囲の景観に配慮する必要があります。</p> | <p>豊かな河川環境は重要な地域資源であり、良好な景観を維持・形成するため、川の周辺も含めた空間を考え、景観に配慮した材料を採用するなど、周辺環境との調和を目指します。</p> | <p>河川整備の際には、周囲の景観に配慮した護岸材料の選定の工夫を行うなど、河川周辺の土地利用などと調和した河川景観の形成に努めます。</p> <p>瀬や淵、河道内の植生など良好な自然環境が見られる箇所もあり、河川整備にあたっては河床の平坦化を避け、瀬や淵、水際植生など、動植物の生息・生育環境の保全・再生に努めます。</p> |



多自然川づくりイメージ図

7. これからの淀川右岸ブロック流域での取り組みについて

河川情報の提供

- Ⅰ 河川氾濫や浸水に対しては、住民が的確に避難行動をとれるよう、水害に強い地域づくり協議会や流域市町と連携した情報提供の実施
- Ⅰ 情報提供にあたっては、行政からの一方的なものにとどまらず、地域特性に応じたものとなるよう、ワークショップ等を通じて、地域住民からの過去の浸水被害等の情報を取り入れ構築

具体的な取り組み

- ① 様々な降雨による地先の危険度をわかりやすく周知する洪水リスク表示図の公表
- ② 地域単位でのワークショップの開催等による地域住民へ洪水リスクの周知
- ③ 過去の災害実績や避難経路の確認（防災マップ作成、簡易型図上訓練等）
- ④ 住民が自ら行動できる避難体制づくり（自主防災組織の設立、防災リーダー育成等）



まち歩きの状態



手作りハザードマップと作成風景



7. これからの淀川右岸ブロック流域での取り組みについて

2) 大阪府などによる情報提供

1 大阪府では、河川のはん濫や浸水に対して、流域関係市と連携し、府民が的確に避難行動を取れるよう情報提供をしていきます。

防災情報

【おおさか防災ネット】

<http://www.cds.osaka-bousai.net/pref/index.html>



緊急情報、避難勧告・指示、地震津波情報などを提供しています。

【大阪府都市整備部河川室 河川防災情報】

<http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/index.html>



淀川右岸ブロック流域の雨量、流域内主要河川の水位状況などを確認できます。

地防災情報を携帯電話で入手できます。下のQRコードを携帯電話で読み込むか、下記アドレスを入力し、空メールを送信してください。

防災情報メール

地域に発令された警報・注意報、避難勧告など、防災情報をメールで携帯にお知らせします。
touroku@osaka-bousai.net



川の防災情報

雨雲の動きや全国の川の水位などの情報を携帯電話で入手できます。
<http://i.river.go.jp/>
直接アクセスしてください。



大阪府河川情報

身近な河川の水位や雨量の情報を携帯電話で入手できます。
<http://www.cds.osaka-bousai.net/suibou/mobile/index.html>
直接アクセスしてください。

